

平成 2 3 年度

# 志教育実践事例集



平成 2 4 年 2 月

宮城県北部教育事務所

# 目 次

## はじめに

発刊にあたって 北部教育事務所長 鈴木 洋	1
-----------------------	---

## 志教育全体計画について

(1) 志教育全体計画作成のポイント	2
(2) 志教育全体計画の例	
大崎市立西大崎小学校	3
美里町立不動堂小学校	5
大崎市立川渡小学校	7
大崎市立鳴子中学校	8
大崎市立鹿島台中学校	9

## 志教育年間指導計画について

(1) 志教育年間指導計画作成のポイント	10
(2) 志教育年間指導計画の例	
大崎市立長岡小学校	11
大崎市立古川中学校	13

## 大崎地区小学校の実践事例

(1) 教科にかかわる実践事例	
加美町立宮崎小学校	16
大崎市立志田小学校	17
大崎市立古川第五小学校	18
大崎市立富永小学校	19
(2) 領域にかかわる実践事例	
大崎市立長岡小学校	20
美里町立青生小学校	21
大崎市立鬼首小学校	23
涌谷町立籠岳小学校	24
(3) その他の教育活動にかかわる実践事例	
加美町立旭小学校	25
大崎市立高倉小学校	27
加美町立賀美石小学校	28
(4) 校内研修にかかわる実践事例	
色麻町立色麻小学校	29
(5) 志教育の取組にかかわる実践事例	
涌谷町立涌谷第一小学校	30
(6) 学校だよりの参考事例	
大崎市立西大崎小学校	32
美里町立中埠小学校	34
(7) 学校要覧の参考事例	
涌谷町立涌谷第一小学校	36
大崎市立松山小学校	37

## 大崎地区中学校の実践事例

(1) 教科にかかわる実践事例	
大崎市立三本木中学校	38
(2) 領域にかかわる実践事例	
涌谷町立籠岳中学校	39
大崎市立松山中学校	40
美里町立小牛田中学校	41
加美町立小野田中学校	42
涌谷町立涌谷中学校	43
(3) 教科・領域にかかわる実践事例	
大崎市立古川北中学校	44
(4) 学校だよりの参考事例	
色麻町立色麻中学校	47
(5) 学校要覧の参考事例	
大崎市立古川北中学校	48
美里町立南郷中学校	49

## 志教育実践モデルについて

(1) 北部教育事務所作成の実践モデル	
小学校 第2学年 生活科「できるようになったことをおしえあおう」	50
小学校 第4学年 総合的な学習の時間「1/2成人式をしよう」	51
小学校 第4学年 音楽科「いろいろな音色を感じ取ろう」	52
中学校 全学年 生徒会活動「学区内クリーンアップ作戦」	53
(2) 志教育の視点からの学習活動の評価例	
児童生徒の自己評価に志教育の視点からの項目を盛り込む例	54
教師側の志教育の視点からの振り返り例	55
<参考資料> 「志教育実践事例」	56

## 発刊にあたって

北部教育事務所長 鈴木 洋

平成22年3月、学校・家庭・地域の強い絆のもとで、高い志をもった、心身ともに健やかな子どもたちを育てるとともに、人々が生涯にわたり多様に学び交流する中で、潤いのある文化を守り育むような地域社会を築くことを目指し、『宮城県教育振興基本計画』が策定されました。

この『宮城県教育振興基本計画』における重点的取組の1番目に掲げられたものが、小・中・高等学校を通じた『志教育』の推進であります。

『志教育』とは、「小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかがかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育」であります。つまり、良き社会人を育てる教育であります。

宮城県教育委員会では、『志教育』の推進に向け、平成22年度は、県内全小中学校で志教育全体計画を作成し、平成23年度は、志教育年間指導計画を作成し、各学校の創意工夫を生かしながら実践化を図るというスケジュールを立てました。

大崎地区の73校の小中学校においては、そのスケジュールを踏まえ、『志教育』のねらいを学校教育目標の改正に生かす試みや、「かかわる」「もとめる」「はたす」の3つの視点と教育活動との関連を探り指導計画に位置付けるなどの作業を進めていただきました。

『志教育』の取組が具体の姿になりはじめた、この時期に、各学校における優れた取組を広く紹介し、今後の参考にさせていただくよう編集したのが、本冊子『志教育実践事例集』であります。

この実践事例集は、「全体計画」、「年間指導計画」、「実践事例」、「実践モデル」の4つの柱で構成したほか、各学校における計画や実践をできる限り掲載しましたので、A3判の『志教育実践事例集（ダイジェスト版）』と併せて、各学校でぜひご活用いただきたいと思います。

平成24年は、震災復興元年であります。また、宮城県の教育界にとりましては、『志教育』実践元年であります。『志教育』は中・長期的取組でありますので、今後も工夫改善を加えながら実践を積み上げていく必要があります。

『志教育』の中で育った子どもたちが、夢や志をもってしっかりと歩み、何年後に日本の未来を担う立派な人材として活躍することを心から願っております。

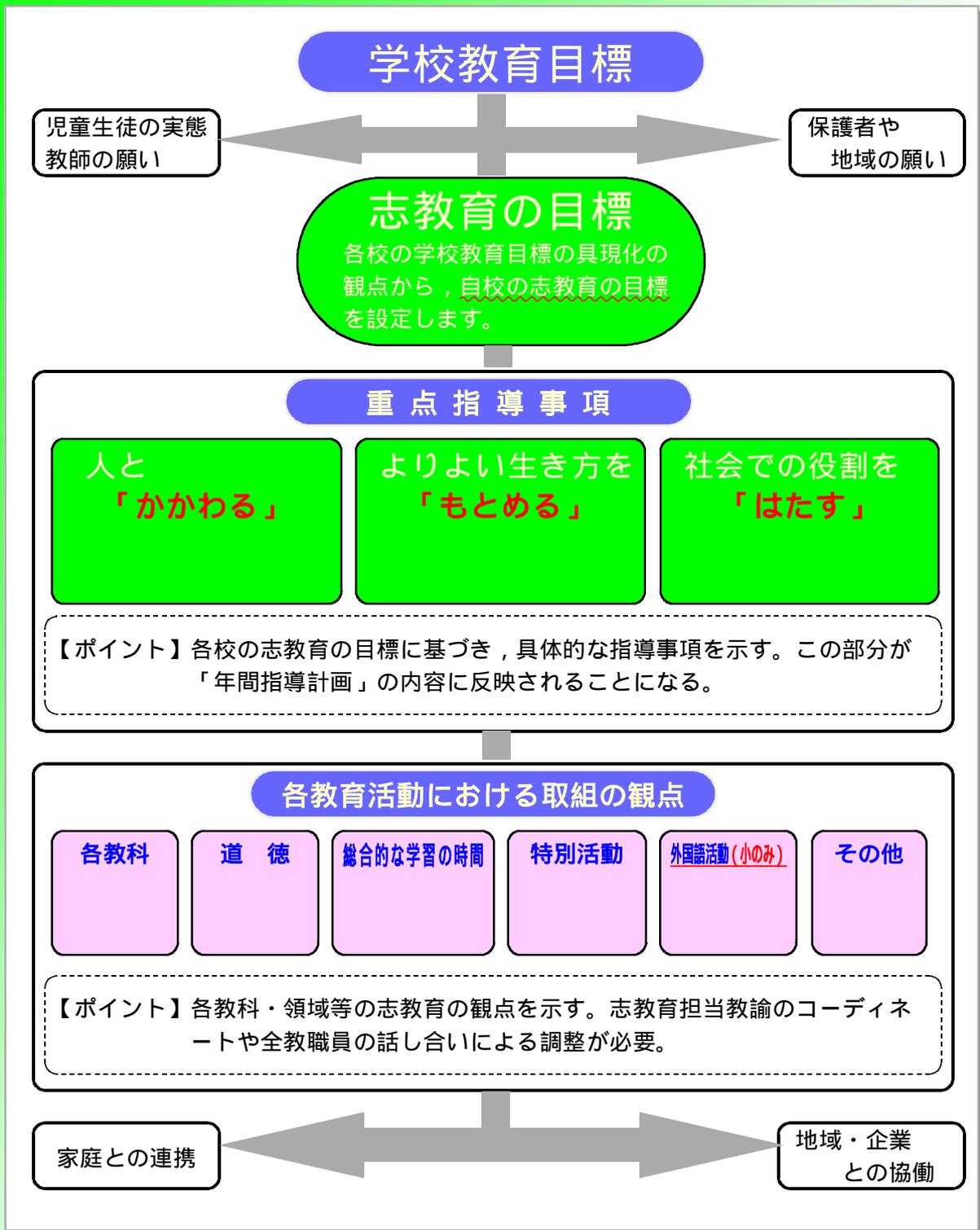
# 志教育全体計画について

- (1) 志教育全体計画作成のポイント
- (2) 志教育全体計画の例
  - 大崎市立西大崎小学校
  - 美里町立不動堂小学校
  - 大崎市立川渡小学校
  - 大崎市立鳴子中学校
  - 大崎市立鹿島台中学校



大崎市立古川第五小学校

## ( 1 ) 志教育全体計画作成のポイント



平成24年度に向けて

今後、志教育の目標や重点指導事項のさらなる自校化に向けて検討していくことが求められる。

年間指導計画との整合性を見直していくことも必要である。

## (2) 志教育全体計画の例

### 大崎市立西大崎小学校

#### 「志教育」全体計画

大崎市立西大崎小学校

##### 1. 「志教育」の基本的な考え方

「志教育」は、夢と志の実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育成することを目標としている。日々の教育活動において、子どもたちに他者と深く関わり合う経験を積み重ねさせることは、この目標を達成する上で特に重要なことである。集団や社会の中で自分が果たすべき役割を十分に考えながら活動する経験を通し、子どもたちは自分自身の社会性や勤労的な精神を高め、将来の自分の生き方を主体的に求めていこうとする態度を伸長させていけると考える。

「志教育」は、小・中・高等学校を通じて、発達段階に応じた系統的な指導が必要とされている。小学校では、全ての教育活動を通して、自らの長所や個性を大切にすること、友だちとともに働くよろこびを味わわせること、学校内だけでなく様々な人々との触れ合いによって、夢やあこがれを育てていくことなどがねらいとして示されている。

本校では、学校教育目標における総括目標として「ひとにやさしく自分に強く」を掲げている。これは、集団の中で他者とかかわり合うために個があるべき姿のイメージでもある。互いに思いやりながら、各自が自分の責任をしっかりと果たそうとする集団の中でこそ、真の自己有用感が高まり、一人ひとりがよりよい自己実現に向けて成長することができると思う。

このような考え方を軸に据え、学校・家庭・地域の実態に即した諸活動の展開を試み、目指す子ども像の具現化のもとに本校独自の「志教育」を推進していきたい。

##### 2. 「志教育」の目標

よりよい人間関係を築きながら、自らのよさに気づき、確かな自己実現のために夢や希望をもって学ぼうとする意欲や態度を育てる。

##### 3. 育みたい力

「志教育」の推進においては、次の観点を育成すべき内容としておさえ、各教科・領域における具体的な手立てや評価項目を設定していく。

- (1) 学習や体験活動の成果を将来の夢や目標につなげていく力
- (2) 興味をもったことを追究するとともに、基本的なことを習得するまで努力する力
- (3) 豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション力

##### 4. 「志教育」の3つの視点

指導にあたっては次の3つの視点を意識し、各教科・領域における指導過程を構成していく。

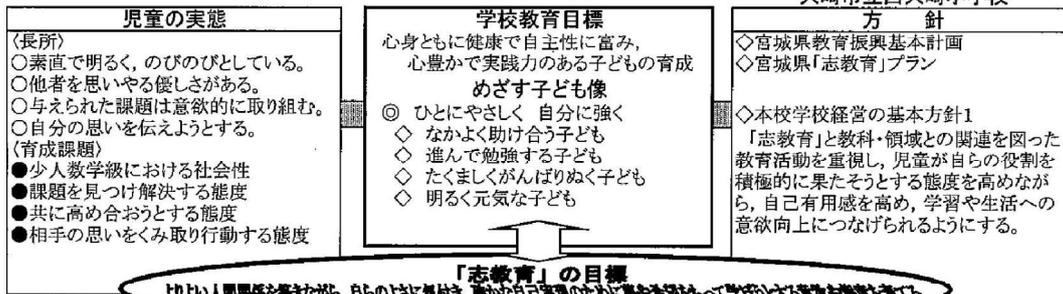
- (1) 人と「かかわる」という視点  
集団や組織の中で人とかかわりをもとに、自己理解や他者理解を深化させ、よりよい人間関係を築く力や社会性を伸ばすための指導の工夫
- (2) よりよい生き方を「もとめる」という視点  
学校で学ぶ知識と社会や職業との関連を実感し、自らの在り方や生き方について主体的に考える態度を伸ばすための指導の工夫
- (3) 社会での役割を「はたす」という視点  
集団や組織の一員として自分の果たすべき役割を認識し、自己有用感を高めるための指導の工夫

##### 5. 「志教育担当教諭」の役割

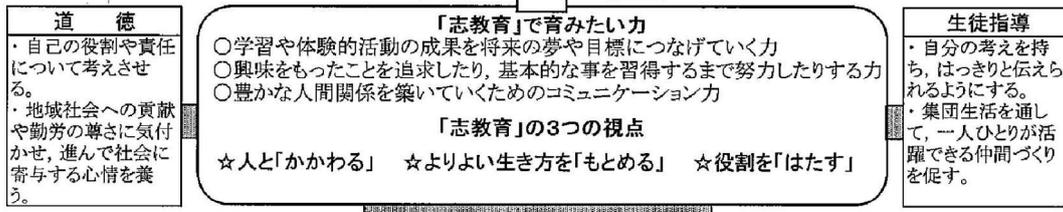
- (1) 志教育指導計画の作成（本校における志教育の在り方の共通理解）
- (2) 各教科・領域等の担当者や各学年との連携・調整
- (3) 家庭・地域への本校の取り組みの発信や連携
- (4) 志教育推進に係わる外部人材や関係機関との渉外
- (5) 成果と課題の蓄積

6. 「志教育」全体計画 構想図

大崎市立西大崎小学校



**「志教育」の目標**  
よりよい人間関係を築きながら、自らのほかに気が付き、誰か自己実現のために努力や奉仕をもって学校に与る態度を醸成していく。



各教育活動における取り組み			
各教科	総合的な学習の時間	外国語活動	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と将来の職業とのかかわりを理解させ、進んで学習に取り組ませる。</li> <li>・人と人とのつながりを大切にの大切さを理解させながら、学ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らに課題を見つけ、よりよく問題を解決しようとする態度を養う。</li> <li>・ふるさとに学ぶ学習を通して、地域と自分との関わりを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでも親しく言葉を交わし合えるコミュニケーション力を養う。</li> <li>・自国文化や伝統などに理解を深め、誇りに思える態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な活動を通して、集団や社会の一員として自己の生き方への考えを深めさせる。</li> <li>・集団の中で自己を生かす能力を養う。</li> <li>・体験活動の充実を図り、自分自身の新しい可能性に気付かせる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>行事・諸活動</b></p> <p>〈学校行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事への参加を通して望ましい人間関係をつくり、集団への所屬感や連帯感を高める。</li> <li>・協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・自発的態度を養う。</li> </ul> <p>〈学級活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団のよさを味わう活動の充実を図り、望ましい人間関係の形成に努めさせる。</li> <li>・協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・自発的態度を養う。</li> </ul> <p>〈勤労生産・奉仕的活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労の尊さや生産の喜びを実体験を通して味わわせる。</li> <li>・ボランティア活動などを通して、社会奉仕の精神を養う。</li> </ul> <p>〈児童会活動・クラブ活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主性と社会性を養い、個性の伸長を図る。</li> </ul>

学年部ごとの指導目標		
キーワード: 友だちとのかかわりあい・働くよこび・自信・夢やあこがれ		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>係、清掃などの日常活動や、飼育・栽培などの学習活動とおして、人とかかわることや、働いたり活動したりすることの楽しさを体感させる機会を多く設定していく。</li> <li>・あいさつや返事ができ、自分の気持ち伝えられる。</li> <li>・互いのよさを認めあったり、励まし合ったりできる。</li> <li>・自分を生かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちとのかかわりを深め、自分のよさや役割を自覚し、自信をもたせるとともに、各教科等での地域や施設の見学などにより、普段の生活と自分の将来との関連に気付かせる。</li> <li>・好きなことや興味をもったことに進んで取り組む。</li> <li>・将来の夢や希望をもち、学習や体験活動に取り組む。</li> <li>・夢や目標をもち、将来の生活や仕事について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動やボランティア活動等を通して自分の役割や責任を果たそうとする態度を育て、地域社会にかかわる喜びや楽しさを実感させるとともに、各教科の学習や生活が自分の将来の生き方と関連していることに気付かせる。</li> <li>・家庭の手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組む。</li> <li>・係活動の必要性がわかり、自分の仕事に積極的に取り組む。</li> <li>・人のために役立つ喜びを体験する。</li> </ul>

<p><b>家庭・地域との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年PTCAの活動</li> <li>・地域人材による外部講師を招いた活動</li> <li>・地域の諸団体との連携・融合的活動</li> </ul>	<p><b>学校間の連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩出山地域音楽会等への参加</li> <li>・真山小学校との合同宿泊訓練</li> <li>・修学旅行・大崎サミットへの参加</li> <li>・岩出山中学校オープンスクールへの参加</li> </ul>
---	--

**全体計画の特徴**

- ・ 全体計画の構想図の前に「基本的な考え方」や「育みたい力」「3つの視点」「志教育担当教諭の役割」を明記し、自校化が図られている。
- ・ 「構想図」の「学年部ごとの指導目標」にキーワードを設定し、実践イメージの共有が図られている。

## (2) 志教育全体計画の例

### 美里町立不動堂小学校

#### (1) 志教育全体計画

#### 学校教育目標

＝めざす学校像＝  
 ①不動堂小の一員であることに、喜びをもてる学校  
 ②地域とともに教育実践できる学校  
 ③保護者・地域社会に開かれた交流のある学校

夢や希望を持ち、よさや可能性を発揮しながら、たくましく生き抜く児童を育成する。

#### ☆めざす児童像

- 【知】 自ら学び考える子ども
- 【体】 心身ともにたくましい子ども
- 【情】 思いやりのある子ども

＝めざす教師像＝  
 ①信頼と協調のもと協働して教育を推進する教師  
 ②子どもとともに伸びる教師  
 ③求めて研修し、実践に生かす教師

＝児童の実態＝  
 ・明るく素直  
 ・指示されたことと与えられた課題にまじめに取り組む  
 ・自分で考えて行動することが苦手

＝保護者の願い＝  
 ・目標を立て積極的に学習に取り組む子どもになってほしい  
 ・思いやりがあり、人の役に立つ人間になってほしい

#### 「志教育」の目標

- 様々な人とのかかわりを通して、身のまわりの仕事や環境に対する気付きを育み、夢や希望、あこがれを抱いて将来の自らの生き方を考え、主体的に学ぶ意欲や態度を養う。
- 実践的、体験的な活動を通して、働くことの意義や職業観を培い、目標に向かって努力する態度を養う。

#### 重点指導事項

	人と「かかわる」 様々な社会活動、職業や生き方に触れる	よりよい生き方を「もとめる」 学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感	社会での役割を「はたす」 集団や組織の中で、自らの役割を果たす体験	
	○自分及び他者の大切さに気付き、家族や友達・周囲の人々にかかわりながら積極的に働きかけようとする能力・態度を育てる。	○身のまわりには様々な仕事があることに気付き、そこで働いている人の思いや願いを探ろうとする。 ○得意なことや好きなことを生かして将来なりたい自分の姿を描いたり、目標をもったりすることを通してできることをやり遂げようとする態度を育てる。	○係活動やお手伝いなど、その場で自分にできることを見つけて進んで実践しようとしたり、目標をもって努力しようとしたりする態度を育てる。	
低学年	家族や友達等身近な人々と接しながら、あいさつや返事をし、自分の気持ちを伝えることができる。	自分の好きなことや興味をもったことに進んで取り組む。	家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組む。	低学年
中学年	友達と協力する中で、互いのよさを認め合ったり励まし合ったりすることができる。	将来の夢や希望をもち、学習や体験活動に取り組む。	係活動の必要性がわかり自分の仕事に積極的に取り組む。	中学年
高学年	様々な集団の中で自己を生かすことができる。	夢や希望をもち、将来の生活や仕事について、学習や体験活動を通して考える。	自己の役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験する。	高学年

#### 各教育活動における取り組みの観点

各教科	総合的な学習の時間	外国語活動	道徳	特別活動	その他
・課題解決過程や協力して学ぶ学び方等、基本的な学び方を定着させる。 ・基礎基本の定着と学ぶ意欲の向上を図る。	・ふるさとのよさの追求を活動目的にしながら、自ら課題を見つけ、解決していく学び方を身に付けさせ、自分の将来について考えさせる。	・外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる中で、自分の気持ちをわかりやすく伝える力を養う。	・思いやりや感謝の心、自らを律しつつ自己向上の精神を高めようとする心情を養う。	・自発的自治的な集団活動を展開させながら、自主的・実践的態度や人とかかわる力を育てる。 ・心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。	・読書活動等で、伝記等に親しませ、先人の生き方から学ばせる。

#### 家庭との連携

- あいさつ運動の実施  
家庭・地域と連携し、あいさつを通して、身近な人たちとかかわりをもつ。
- 早寝・早起き・朝ご飯の啓発  
家庭と連携して基本的な生活習慣づくりに取り組む。
- 自学の取り組み  
学年の発達段階に応じて、家庭学習の定着と充実を図る。

#### 地域・企業等との連携

- 子どもたちが地域の中でできること(例)  
・街中探索、社会科見学・職場見学・ボランティア活動  
・保育体験、福祉体験・自治会や公民館の活動  
・地区子ども会・お祭り等地域行事への参加 など
- 企業・産業界との連携でできること(例)  
・工場見学・職場見学・スーパーマーケット調べ  
・保育体験、福祉体験・テレビ局等見学・お店調べ、仕事調べなど
- その他(例)  
・学校間連携(保育所、幼稚園、中学校との交流)  
・学校訪問や出前授業・卒業生や地域の人の体験談を聞く会  
・幼児、高齢者、障害のある人々との触れ合い体験 など

◇「志教育」学年部指導目標

身につけさせたい諸能力 (キャリア教育の視点も含めて)		低学年	中学年	高学年	
か か わ る	【人間関係形成能力】 他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してもの取りに組み込む。	【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切に行動していく能力  【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	・自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う。 ・友達と仲良く遊び、助け合う。 ・お世話になった人などに感謝し親切にする。	・自分のよいところを見つける。 ・友達のよいところを認め、励まし合う。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。	・自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。 ・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。
	【情報活用能力】 学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力  【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことを理解していく能力	・身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。	・いろいろな職業や生き方があることが分かる。 ・分からないことを、図鑑などで調べたり、質問したりする。 ・係や当番活動に積極的に参加する。 ・働くことの楽しさが分かる。	・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。 ・自分に必要な情報を探す。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。 ・施設・職場見学等を通して、働くことの大切さや苦勞が分かる。 ・学んだり体験したりしたこと、生活や職業との関連を考える。
も と め る	【将来設計能力】 夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力  【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる。 ・作業の準備や片づけをする ・決められた時間やきまりを守ろうとする。	・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気づく。 ・将来の夢や希望を持つ。 ・計画づくりの必要性に気づき、作業の手順が分かる。 ・学習等の計画を立てる。	・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・仕事における役割の関連性や変化に気づく。 ・将来について考えることの大切さが分かる。 ・憧れとする職業を持ち、今、しなければならぬことを考える。
	【意思決定能力】 自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力  【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	・自分の好きなもの、大切なものを持つ。 ・学校でしてよいことと悪いことがあることが分かる。	・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・してはいけないことが分かり、自制する。	・委員会活動などで自分のやれそうな役割を比較し選ぶ。 ・教師や保護者に自分の悩みや葛藤を話す。 ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ・自分の力で課題を解決しようとする。
は た す					

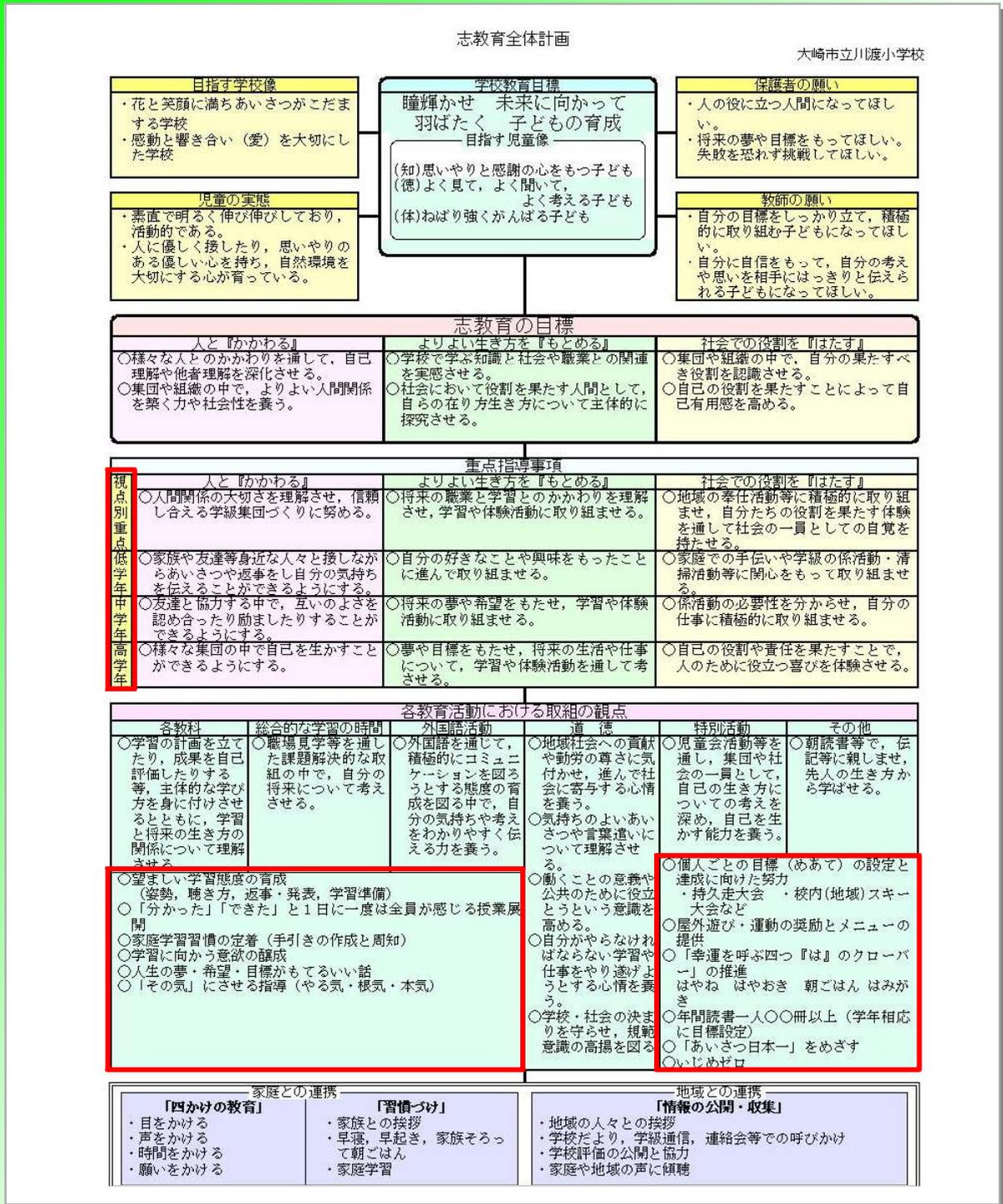


全体計画の特徴

- ・「学年部指導目標」として「かかわる」「もとめる」「はたす」の視点とキャリア教育の視点を関連させて頂立てをしている。視点ごとに「身につけさせたい諸能力」と学年部ごとの目指す児童の姿を一覧にまとめ、系統性・発展性を明確に示している。

## (2) 志教育全体計画の例

### 大崎市立川渡小学校



#### 全体計画の特徴

- 「志教育の目標」を「かかわる」「もとめる」「はたす」の3つの視点から設定し、それを受けて「視点別重点」と学年部ごとの目指す児童像を示している。
- 「各教育活動における取組の観点」に横断的な部分を設定している。

## (2) 志教育全体計画の例

# 大崎市立鳴子中学校

平成23年度 志教育全体計画 大崎市立鳴子中学校

○日本国憲法 ○教育基本法  
○学校教育法 ○学習指導要領  
○大崎市立学校の管理に関する規則

<宮城県教育基本方針>  
未来を担い、志高く生きる  
心身ともに健やかな人間形成と  
互いの絆を大切にすると  
調いのあるふさふさづくりをめざして  
たくましくやさしさを誇る学校  
学びと生きがいにあふれた地域社会  
かみなり強い芸術文化  
感動と活力あるスポーツ  
を重点に県民の生涯にわたる学習の充実  
に努める

○宮城県教育振興基本計画  
○北浜圏内大崎地区生涯学習「学校教育」

**校 訓**

ゆめ (未来)  
いのち (共生)  
ちから (学力)

**教育目標**

夢をはぐくみ  
生命輝かせ  
味かな実践力を身に付ける  
生徒の育成

**目指す生徒像**

「ゆめ」  
大いなる夢をもち、  
美しきふるさとを創る生徒  
「いのち」  
さわやかにあそび、  
自然を認め合う生徒  
「ちから」  
確かな学力、豊かな感性、  
健やかな心身をはぐくむ生徒

**目指す学校像**

「ゆめ」:「感動」  
志をはぐくみ感動のある学校  
「いのち」:「出会い」  
出会いのある学校  
「ちから」:「誇り」  
誇りをもてる学校

<大崎市教育基本方針>  
1 確かな学力と豊かな感性を培う学校づくり  
2 強い人間性と責任感をはぐくむ家庭づくり  
3 誇りつなげりと誇りにあふれた地域社会づくり  
4 誇り高く魅力ある芸術文化の創造  
5 楽しさと感動にあふれるスポーツの振興

<学校教育の重点と努力点>  
重点1: 創造と工夫に満ちた特色ある学校づくり  
重点2: 確かな学力を培う学校づくり  
重点3: 豊かな人間性を培う学校づくり  
重点4: たくましく生きるための健康・体力を培う学校づくり  
重点5: 家庭や地域に開かれた信頼される学校づくり

<保護者の願い>  
\*基礎・基本を身に付け、学力向上  
\*思いやりの心をもち、礼儀正しく  
\*自分で判断し、根気強く  
\*健康でたくましく

**<経営の方針>**

【凡事徹底】  
時を守り  
場を清め  
礼を尽くす

一人一人の生徒は、かけがえない存在であることと深く認識し、創意と活力に満ちた調和と統一のある学校経営に努め、全職員が英知と創意を凝らし、生徒を「中核」にした教育活動を実践し、自立して生きるための基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、教育目標の達成に努める。また、新入生・中級生・上級生・卒業生のよりどころを、「ゆめ」「いのち」「ちから」の言葉に託し、夢と志をもち、その実現に向けて生き生きと活動し、「よく生き、よく学ぶ」生徒の育成を図る。

【スローガンZ3】  
「チーム鳴子」  
“One for all,  
all for one”

<p style="text-align: center;"><b>生きる力の具現化</b></p> <p>○集団の中で自己を生かし、自らの考えや判断と他の人の考えや判断を織り合わせ、協力して取り組む態度を育て、集団や組織の中で、果たすべき役割を担う態度を育てる。 ○様々な体験活動を通して、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、他の人や社会との関わりの中で自己の生き方を考えさせる。</p>	<p style="text-align: center;"><b>志教育の目標</b></p> <p>○よりよい人間関係を築きながら、自らのよさに気づき、将来に向けて、自らの生き方を考え、夢や志をもって生きようとする意欲や態度を養う。 ○「他人・他者と」して生きていくために、必要な規範を身に付け、よりよい社会を創っていくこととする意欲や態度をはぐくむ。</p>	<p style="text-align: center;"><b>教育目標の具現化</b></p> <p>&lt;ゆめ&gt; 不撓不屈の心をもち、一つの目標に挫折しても、柔軟に新しい目標を見いだし、新しい目標に向かって前向きに生きる態度を育てる。 「いのち」 自然の生命を大切にすると心や人を思いやり自分のできる人のためになることをしようとする気持ちを育てる。 「ちから」 自分の心をしつかり見つめ、他の誘惑や邪念に惑わされることがなく、志をもって、目標実現のため、粘り強く取り組む姿勢を育てる。</p>
--	--	--

指導重点事項								
人と『かかわる』			よりよい生き方を『もとめる』			社会での役割を『はたす』		
○人間関係の大切さを理解させ、信頼し合える学級づくりにする。			○従来の授業と学習とのかわかりを理解させ、学習や体験活動に積極的に取り組ませる。			○地域の奉仕活動に積極的に取り組ませ、自分たちの役割を定めて体験を通して、社会の一員としての自覚をもたせる。(社会参画意識の高揚)		
○まわりの人の個性や立場を尊重し、他の人の意見を認め、協力的な態度を醸成することとする意欲を養う。			○困難なことがあっても目の前の自分の夢や目標に向かい、計画に従って着実に努力し続ける強い意欲をはぐくむ。			○社会における自らの役割や生き方を考え、目標を定めて積極的に取り組む態度を育てる。		
1 学年	2 学年	3 学年	1 学年	2 学年	3 学年	1 学年	2 学年	3 学年
○友達と協力する中で、互いの個性や立場を尊重し、協力関係を築き、励まし合ったりすることができ、	○自分のよさや個性や立場を尊重し、協力関係を築き、励まし合ったりすることができ、	○自分のよさや個性や立場を尊重し、協力関係を築き、励まし合ったりすることができ、	○夢や目標を立て、短期に実現し、めいめい強い意志を養う。	○今の自分をしっかりと見つめ、自己の向上を図るとともに、自己の人生を切り拓くこととする意欲を養う。	○目標や計画を立て、自己目標を詳細にする等、主体的な学び方を身に付ける。	○自己の役割や責任を果すこととして、人のために役立つ喜びを体験する。	○働くことの意義や責任を理解し、社会貢献について考えることができる。	○集団や社会の一員としての自覚をもち、責任を担うことができる。

各教科との関連	道徳との関連	特別活動との関連	総合的な学習の時間との関連	その他
○「自助の心」と「共助の心」を活動を通して育て、互いの意見を尊重する。	○道徳的価値観に基づいて、自己の生き方を築く。	○望ましい集団や関係性を築く中で、自己の生き方を築く。	○横断的・総合的な学習や課題を通して、自己の生き方を考える。	○「朝活」活動で、先輩や先生から学ぶ機会を設ける。

家庭との連携	地域・社会との連携
○きまりや約束を守らせ、規範意識の高揚を図り、人としての基本をしっかりと身に付けさせる。	○外部の「人・もの・情報」を効果的に活用し、身近な問題や今日的な課題を考えさせる。

言語活動の充実、言語環境の整備、主体的な学習の充実、体験的な活動の推進、ガイダンス機能の充実、個に応じた指導の充実、問題解決的学習の充実、開かれた学校づくり

**生 徒 指 導 事**

【基本姿勢】自分のよさに気づき、自己実現に向けて取り組む生徒の育成（積極的な生徒指導）「見る努力」「見付ける観察」「指導の速さ」

<p>【指導】基本的な生活習慣の定着、集団や学校生活への適応 2 個性的な個性化、自主性・自覚性のある生徒指導 3 個性の伸長、将来の社会生活で自己実現できる資質能力の育成 4 豊かな人間関係構築のための指導方法の工夫（PA、MA等）の利用</p>	<p>【基本方針】1 学校生活や集団に適応し、個に応じた指導による自己指導力の育成 2 生徒理解は全人格的理解と捉え、「主体的な判断」「行動」「積極的に自己を生かしていく」態度や能力の育成 3 地域の関係機関・諸団体との協同連携を図ることによる指導の充実等</p>
--	--



### 全体計画の特徴

- ・ 「教育目標の具現化」「生きる力の具現化」の項目を設定し、「志教育の目標」と「教育目標」「生きる力の育成」との関連を明確にしている。
- ・ 全体計画が構造的で教育活動相互の関連が明確である。また、「指導重点事項」に学年ごとの目指す生徒の姿が示され、実践イメージの共有が図られている。

## (2) 志教育全体計画の例

### 大崎市立鹿島台中学校

#### 平成23年度 志教育 全体計画



#### 全体計画の特徴

- ・ 「各教育活動における取組の観点」は、「かかわる」「もとめる」「はたす」という志教育の3つの視点から内容を整理し、教育活動ごとの目指す生徒像を明確にしている。
- ・ 学校教育目標に基づく「目指す生徒像」との関連も図られている。

# 志教育年間指導計画について

- (1) 志教育年間指導計画作成のポイント
- (2) 志教育年間指導計画の例  
大崎市立長岡小学校  
大崎市立古川中学校



涌谷町立籠岳中学校

## ( 1 ) 志教育年間指導計画作成のポイント

### 年間指導計画作成中の場合

#### 【 作成の手順の例 】

- 1 自校の志教育の目標及び重点指導事項を確認する。
  - (1) 自校の志教育の全体計画に示されている志教育の重点指導事項のうち1つを選ぶ。
  - (2) 選んだ重点指導事項のポイントを記述する。
  - (3) 志教育の重点指導事項のポイントにかかわる教育活動を教科・領域等の年間指導計画等から探す。
- 2 志教育の視点から教育活動を構想する。
  - (1) 特定の学年，教科・領域，該当授業（活動）を決める。
  - (2) 単に時間の授業（活動）を想定し，その時間の志教育の視点を設定する。
    - ・ 教科固有の目標ではないことを確認する。
  - (3) 単位時間の学習の流れを考える。
    - ・ 1時間の学習の中で志に高める手立てを含める。
- 3 教職員でグループ（学年部単位等）を編制し，それぞれが想定した志教育にかかわる構想を発表し合い，意見を述べ合う。＜グループ協議＞
- 4 グループごとに1事例を出し合い，全体で協議する。＜全体協議＞
  - ・ 出された事例で，志教育の目標に十分迫ることができるかを協議する。
- 5 協議により実践可能となった教育活動を年間計画に入れていく。

### 年間指導計画が完成している場合

#### 【 確認の手順の例 】

- 1 本年度，実践した教育活動の成果を確認する。
  - (1) 職員全体あるいは学年部等で，成果について話し合い，「ねらい」・「手立て」等の有効性を確認する。 次年度，志教育として取り組める可能性がある事例も取り上げる。
  - (2) 次年度へ向けて，取組の改善点を話し合う。
  - (3) 改善点を志教育年間指導計画に反映させ，全体のバランスを確認する。
- 2 次年度，実践予定の教育活動の内容を吟味する。
  - (1) 教職員全体あるいは学年部等で，「ねらい」・「手立て」を吟味する。
  - (2) 次年度へ向けて，取組の改善点を話し合う。



#### 【作成のポイント】

- ・ 自校の志教育の目標の具現に向けて，指導の系統性や発展性を確認するためには，一つ一つの教育活動の成果を確認するとともに，年間計指導画全体のバランスを全教職員で確認することが必要である。志教育担当教諭には，事前に収集した情報に基づく資料の作成や話し合いの進行等，コーディネーターとしての役割が求められる。





(2) 志教育年間指導計画の例

大崎市立古川中学校

平成 23 年度

志教育全体計画

大崎市立古川中学校

<p><b>生徒の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○落ち着いた学校生活</li> <li>○明るく活発</li> <li>○話を聞く姿勢・態度</li> <li>△希薄な自己有用感</li> <li>△時と場に応じた言動</li> <li>△発表、表現力</li> </ul> <p><b>目指す生徒像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○古中に学ぶ「誇り」を持つ生徒</li> <li>○将来を見つめ「夢」を追い求める生徒</li> <li>○仲間とともに「前進」する生徒</li> </ul>	<p><b>教育目標</b></p> <p>常に正しさを求めて、向上的態度を持とう  <small>＜古川学人 吉野作造博士著「古川陰影」より＞</small></p> <p><b>志教育の目標</b></p> <p>変化の激しい社会をたくましく主体的に生きる人間として「誇り」と「夢」を持ち、より高い目標を定め、その実現に向けて仲間とともに「前進」し、人生を切り拓いていこうとする意欲や態度を養う。</p> <p>1年：地域の一員としての自覚をもち、生き方を学ぶとともに思いやりの心で人とのかかわり、他者を理解し尊重する態度をはぐくむ。</p> <p>2年：社会の一員として果たす役割と義務・責任を自覚するとともに、自己の目標に向かって努力しようとする意欲を培う。</p> <p>3年：21世紀を主体的に生きる人間としての自覚を持ち、自己を見つめ、より高い目標を定め、よりよい生き方を求めていこうとする意欲や態度をはぐくむ。</p>	<p><b>保護者・地域の願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な学力の定着</li> <li>○基本的な生活習慣の定着</li> <li>○社会規範の定着</li> <li>○心の教育の充実</li> <li>○夢や志を育む教育</li> <li>○コミュニケーション能力の育成</li> <li>○いじめ、不登校対策の充実強化</li> </ul> <p><b>教師の願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく活発、誠実</li> <li>○行事や部活動への取組</li> <li>△場に応じた適切な言葉遣い</li> <li>△リーダー性</li> <li>◎良さを認め評価する場</li> <li>◎生徒の自主性の伸張</li> </ul>
--	---	--

重点指導事項

<p><b>人と『かかわる』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○心の居場所があり、自己肯定感、自己有用感をはぐくむ</li> <li>○話し方・聞き方、話し合い、学び合い、高め合いを全教育活動を通じて定着</li> <li>○コミュニケーション能力の育成</li> <li>○言語環境の整備</li> <li>○あいさつ運動の充実、強化</li> </ul>	<p><b>よりよい生き方を『求める』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びの意義」を実感させる</li> <li>○「学び方を学ぶ」指導による自主（家庭）学習の充実</li> <li>○進路学習の充実</li> <li>○体験活動の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験学習：地域（2年）</li> <li>・職場体験学習：東京（3年）</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>社会での役割を『はたす』</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集団の一員としての自覚を促す</li> <li>○行事や部活動への取組</li> <li>○地域活動への積極的な参加</li> <li>○PTA活動への参加</li> <li>○小・中連携活動の実践</li> </ul>
--	---	---

「志教育」実践の視点

大崎市立古川中学校

みやぎの志教育

小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とのかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育。

<p>○様々な人とのかかわりを通して、自己理解や他者理解を深化させる</p> <p>○集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。</p>	<p>○学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させる。</p> <p>○社会において役割を果たす人間として、自らの在り方生き方について主体的に探求させる</p>	<p>○集団や組織の中で、自分の果たすべき役割を認識させる。</p> <p>○自己の役割を果たすことによって自己有用感を高める</p>
--	--	---

<p><b>小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつや姿勢、気持ちを伝える</li> <li>○友達と協力、認め合い、励まし合い</li> <li>○集団の中で自己を生かす</li> </ul>	<p>○進んで取り組む</p> <p>○将来の夢や希望をもち、取り組む</p> <p>○夢や目標をもち、将来の生活について考える</p>	<p>○家庭での手伝い、係り活動・清掃活動に関心をもって取り組む。</p> <p>○係り活動の必要性が分かり、自分の仕事に積極的に取り組む。</p> <p>○役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験する。</p>
---	--	--

<p><b>中学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のよさや適性を自覚するとともに、他者を理解し尊重することができる。</li> <li>○人間関係の大切さを理解し、周囲に配慮しながら、よりよい関係を築くことができる。</li> </ul>	<p>○目標や計画を立てたり、成果を自己評価する等、主体的な学び方を身に付ける。</p> <p>○将来の職業と学習の関わりを理解し、学習や体験活動に取り組む。</p>	<p>○集団や社会の一員としての役割と責任を自覚することができる。</p> <p>○学校生活や地域の中で自己の役割や責任を果たすことで自信をもつことができる。</p>
--	---	---

古川中学校の取組

I 志教育の目標：変化の激しい社会をたくましく主体的に生きる人間として「誇り」と「夢」をもちより高い目標を定め、その実現に向けて仲間とともに「前進」し、人生を切り拓いていこうとする意欲や態度を養う。

II 総合単元配列

学年	ねらい	学習目標	目 標	
1	地域の一員としての自覚をもち、生き方を学ぶとともに思いやりの心で人とのかかわり、他者を理解し尊重する態度をはぐくむ。	1	かかわりをつくらう。	○中学生として、新しい環境の中で人とのかかわり合うことの大切さに気づく。
		2	生き方を学ぼう。	○自己を見つめ個性を自覚するとともに、地域の人々とのかかわり合いをとおして将来について関心をもつ。
		3	職場体験学習に向かう。	○職業についての基礎的学習をとおして自らの進路について意識をもつ。
2	社会の一員として果たす役割と義務・責任を自覚するとともに、自己の目標に向かって努力する意欲を培う。	1	社会とのかかわる	○職場体験学習に向けた学習活動を通して、将来の職業と学習の関連を実感するとともに自分と社会とのかかわりについて関心をもつ。
		2	自分を見つめる	○職場体験学習や生徒会活動を通して他とのかかわりの中で生活していることを深く認識し、しっかりと自分を見つめる。
		3	生き方を考える	○生きることの意義やよりよい生き方について様々な角度から考える。
3	21世紀を主体的に生きる人間としての自覚をもち、自己を見つめ、より高い目標を定め、よりよい生き方を求めていこうとする意欲や態度をはぐくむ。	1	リーダーとして	○最終学年として、積極的に積極的に取り組み、リーダーとしてよりよい環境を創り上げていこうとする意欲をもつ。
		2	自分の道を拓く	○自分の夢や希望を明確にし、よりよい生き方と進路を切り拓く意欲をもつ。
		3	自立の心	○自分自身をしっかりと見つめ、人生をよりよく、力強く生きるための志をもつ。

III 年間指導計画・・・別紙

<p><b>高等学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他者の価値観、個性の理解、自己理解の深化</li> <li>○多様な人と場に応じた適切なコミュニケーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生きがい、やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える。</li> <li>○将来の職業や生き方について考え、その具現化に向けて、学習や体験活動に全力で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚し責任を果たすことができる。</li> <li>○社会の中でより価値の高い生き方、自己を生かす生き方について考えを深める。</li> </ul>
---	--	--





# 大崎地区小学校の実践事例

- (1) 教科にかかわる実践事例
  - 加美町立宮崎小学校
  - 大崎市立志田小学校
  - 大崎市立古川第五小学校
  - 大崎市立富永小学校
- (2) 領域にかかわる実践事例
  - 大崎市立長岡小学校
  - 美里町立青生小学校
  - 大崎市立鬼首小学校
  - 涌谷町立笹岳小学校
- (3) その他の教育活動にかかわる実践事例
  - 加美町立旭小学校
  - 大崎市立高倉小学校
  - 加美町立賀美石小学校
- (4) 校内研修にかかわる実践事例
  - 色麻町立色麻小学校
- (5) 志教育の取組にかかわる実践事例
  - 涌谷町立涌谷第一小学校
- (6) 学校だよりの参考事例
  - 大崎市立西大崎小学校
  - 美里町立中埴小学校
- (7) 学校要覧の参考事例
  - 涌谷町立涌谷第一小学校
  - 大崎市立松山小学校



大崎市立高倉小学校

## (1) 教科にかかわる実践事例

### 実践名：町となかよし

教科：生活科（2年）

実施期日（期間） 平成23年6月6日（月）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・もとめる・**はたす**）

- ・ 地域の人たちと積極的にかかわりを深め、地域への愛着を深める。（かかわる）
- ・ 地域の良さを見つけ、工夫して伝え合う。（はたす）

#### 具体的な学習・活動の流れ

- 1 町の良い場所，人，自然等を教え合い，自分たちの町への関心を高める。
  - ・ 自分の家の付近の施設や自然で知らせたいことを発表し合う。
- 2 行ってみたい場所について話し合い，グループごとに役割分担をする。
  - ・ 春探して通学路を歩いたことを思い起こさせるとともに，町内の施設の資料を準備しておく。
  - ・ 探検カードを用意する。



町の菓子店の方の説明を聞く



ガラスを切る仕事の体験

- 3 探検する場所を地図で確認し，調べてくることを話し合う。
  - ・ どんなことを調べてくるのか，どのように質問すればよいのかを話し合う。
  - ・ 目的場所への行き方を確かめ，お世話してくれる方への態度など，探検の準備や練習を行う。
- 4 約束を守って，楽しく町探検する。
  - ・ 児童数，職員数との関係などから，グループごとの活動が難しい場合は，学級全体で探検する。
- 5 調べてきたことや気付いたことをまとめ，学級の友達，1年生，町の人などに発表する。
  - ・ グループごとに調べて分かったことや感想を写真とともにまとめる。
  - ・ 伝えたい人（1年生や町の人）を招き，発表する。

#### 指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 町の様々な人の取組や努力によって，よりよい暮らしができることに気付かせるために，地域の人たちとのかかわりの場の設定や振り返りの手法を工夫する。



#### 実践を振り返って

**成果**：駐在所，雑貨店，菓子店，スポーツ公園等へ出かけ，地域の人々から話を聞くことが，町のことをより理解するきっかけとなった。質問を事前に準備し，練習していたことで，地域の人々に対し，はっきり質問することができた。

**課題**：引率教員の数などから，安全面を考慮し，学級単位の探検となった。そのため，一人一人の活動の場面を確保することが難しく，一部の児童が中心となって地域の方々と触れ合った形になった。7年部の教員や保護者の協力を得ることも考えたい。

**その他**：生活科は，特に地域の方々の協力が必要である。今回のように協力が得られるように，地域の方々との連携を図っていきたい。

※この実践事例は，加美町立宮崎小学校の取組です。

## ( 1 ) 教科にかかわる実践事例

### 実践名：立体に表す（将来の夢を粘土で表す）

教科：図画工作科（6年）

実施期日（期間） 平成23年10月21日（金）～

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・**もとめる**・はたす）

- ・ 将来の生活や仕事に夢や目標を持たせ、社会の中で自分ができることや果たすべき役割を考えさせるために題材の設定や指導の継続性を工夫する。（かかわる・もとめる）

具体的な学習・活動の流れ

- 1 将来の夢やなってみたい職業等を考え、構想図に表す。
- 2 考えた場面や様子に合わせた動きを考え芯材を作り、色づけした粘土を使って、自分の描いた将来の姿を表す。
- 3 将来、自分が夢の職業の仕事をしている様子や状況が分かるように背景や小物を工夫して作る。
- 4 作品カードに、将来の自分に込めた思いを書く。



指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 自分の思いや願いがかなえられた時の姿を想像させたり、作品カードに思いを書かせたりした。作品についての発表会でも「こんなことをしている自分」の姿を想像させることで、自分の将来の夢をはぐくむようにした。
- ・ 「楽天未来塾」の出前講座でプロ野球選手やコーチの方の話を聞くことで、自分の夢の実現への志を高めるようにした。



実践を振り返って

**成果**：机をコヤ口の字型に並べて創作活動をしたことで、技術的な教え合いが自然に行われたり、友達の作っているところや小物を見合ったりしながら、互いの作品を肯定的に認めることができていた。

児童は、友達と話し合いながら熱心に作品作りに取り組み、より一層自分の夢を膨らませていった。

**課題**：今回は、「楽天未来塾」の出前講座を「かかわる」と関連付けることができたが、来年度以降は、地域の人材を活用するなど工夫して、継続性を持たせて取り組んでいきたい。

※この実践事例は、大崎市立志田小学校の取組です。

## (1) 教科にかかわる実践事例

### 実践名：玉ねぎを育てよう

教科：社会科（3年）

実施期日（期間） 平成23年11月21日（月）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・**もとめる**・はたす）

- ・ 自分たちの生活と地域の産業が深く結びついていることを知り、感謝の念を抱かせる。（かかわる）
- ・ 地域の方々と体験活動を共に行い、地域の中でよりよい関係を築こうとする気持ちを育てる。（かかわる）
- ・ 地域について学び、自分たちの活動が地域を支えていることを自覚させる。（もとめる）

#### 具体的な学習・活動の流れ

- 1 地域で作られている作物を探し、作られている場所や量を調べる。（玉ねぎ（古川南土地区画整理組合の畑））
- 2 玉ねぎを使った料理や購入する場所など、調べたいことを話し合う。
- 3 玉ねぎ畑に出かけ、農家の方々から植え付けの仕方を学び、体験する。
- 4 体験して疑問に思ったことやもっと調べたいことを、図書やインターネットで調べ、新聞形式にまとめる。



< 4年 >

玉ねぎ畑に出かけ、農家の方々から収穫の方法を学び、体験する。

- ・ 収穫した玉ねぎは、児童の家庭や総合的な学習の時間でお世話になった方々に配ったり、全校給食で使用する。

#### 指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 人のために役立つ喜びを味わい、社会の一員としての自覚を高めるために、収穫した玉ねぎを全校児童で味わったり、地域の方々に配ったりする場を設定する。
- ・ 働くことの意義や自分の生き方を考えさせるために、地域の方々と体験を共有する場を設定する。また、次の学年に活動が伝わるような発表の仕方を工夫する。

#### 実践を振り返って

**成果**：自分たちが植え付けた玉ねぎが、学校や家の食卓にあがることを体験的に知っているのので、どの児童も意欲的に活動することができた。学区内の畑で、顔なじみの方々と活動なので、日常的に作物の生長を見に行ったり、共に活動した農家の方々と言葉を交わしたり、活動で得たかかわりを継続することができた。

**課題**：4年の活動の位置付けが不明確なので、教育計画の中に明示する必要がある。

※この実践事例は、大崎市立古川第五小学校の取組です。

## ( 1 ) 教科にかかわる実践事例

## 実践名：人のたんじょう

教科：理科（５年）

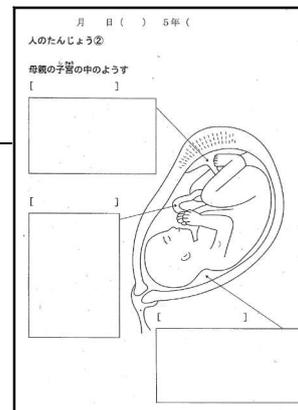
実施期日（期間） 平成23年12月1日（木）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・**もとめる**・はたす）

- ・ 自分が誕生したときの家族の思いや願いを考えさせることで、家族の一員としての役割を考えさせる。（かかわる）
- ・ 人の誕生の仕方を学習する過程で、かけがえのない生命を授かったことを理解させ、生きることや生命の営みの神秘を考えさせる。また、家族の思いを受けて将来の自分の生き方を考えさせる。（もとめる）

具体的な学習・活動の流れ

- 1 人の母体内での子どもの成長を想像して、疑問を話し合い、調べることを決める。
- 2 人の母体内での子どもの成長を調べる方法を考え、計画する。
- 3 人の母体内での子どもの成長を資料や取材などで調べる。
- 4 人の母体内での子どもの成長について、調べたことを発表する。
- 5 人の母体内での子どもの成長、変化についてまとまる。



指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 人の受精卵の母体内での変化や誕生の仕方等を調べる活動を通して、自分自身の生命がかけがえのないものであることに気付かせる。また、自分自身の誕生の様子や家族の気持ちを取材させることで、家族とのつながりや家族の思いにも気付かせる。家族とのつながりや家族の思いを受けて、これからの生き方について考えさせる。このような学習を通して、よりよい生き方を考え、志を高められると考える。

## 実践を振り返って

**成果**：生命誕生の神秘や家族の思いを考えさせることにより、限られた時間の中で、人生をよりよく生きていこうという気持ちが高まってきた。母体内で受精卵から人間の姿に成長していく様子、胎盤や臍の緒を通して母親から栄養をもらっていたこと、さらには、誕生時の様子などを視聴覚資料を通して学習することで、自分自身が、かけがえのない存在であり、生命を大切にしようという意識も高まったように思う。また、家族への聞き取り調査により、家族の思いや願いも感じ取ることができ、よりよく生きようとする姿勢が見て取れた。

**課題**：母子家庭や父子家庭の児童もいるので、聞き取り活動には配慮が必要である。生物学的な事項と志教育をうまく結び付けるために、児童の調べ学習や表現活動時の声かけの仕方や意欲付けの発問の仕方がポイントである。生命のバトンを受け継ぎ、今後の人生をよりよく生きていくことにうまく結び付けたい。

**その他**：4年生の保健とのかかわりで考えたり、養護教諭とT Tで指導をすることで、さらに効果が期待できると思われる。

※この実践事例は、大崎市立富永小学校の取組です。

## ( 2 ) 領域にかかわる実践事例

実践名：「毎日毎日の足跡が」1 - ( 2 ) 希望・勇気

領域：道徳（6年）

実施期日（期間） 平成22年4月17日（土）＜学習参観日＞

志教育にかかわるねらい（かかわる・**もとめる**・はたす）

- ・ 夢や目標を持ち、将来の生活や仕事について学習や体験活動を通じて考えることができるようにする。（もとめる）

具体的な学習・活動の流れ（1時間扱い）

- 1 志教育年間指導計画（児童用）を見て、これまでの「生き方を学ぶ」学習を振り返る。
- 2 相田みつをの詩「毎日毎日の足跡が」を読む。
- 3 詩を読んで、相田みつをの生き方を考え、感じたことをワークシートに書く。
- 4 感じたことを全体で話し合う。
- 5 話し合いを通して、「自分がきれいな足跡を残すにはどうしたらよいか」を考える。
- 6 話し合いを振り返り、シラバスに感想を書く。
- 7 夢や希望について、教師の話聞く。

指導のポイントや手立ての工夫

- ・ これまでの志教育の年間指導計画（児童用）やシラバスを見て、本時の学習のねらいを知る。
- ・ 志教育に関連する学習の感想をまとめたポートフォリオを作成し、いつでも自分自身の考え方や在り方・生き方を振り返ることができるようにする。
- ・ 学んだことをまとめて発表したり、川柳や四字熟語、ことわざ等と関連させて表現したりすることを通して、人としてよりよく生きることへの関心・意欲を高めていけるようにする。



実践を振り返って

**成果**：4月の学習参観日において志教育に関連する道徳の授業を行うとともに、学年懇談会で6学年の学習は「人としての生き方」をテーマとして構成されていることを知らせ、1年間の学びの目標や目的を保護者にも共通理解してもらった。児童は1年間どの場面においても、学びの意味を忘れることなく、常に活動に合った目標を掲げて、懸命に取り組むことができた。卒業の日、1年間の志教育の学びの成果をまとめたリーフレット「卒業メッセージ」を配布し、その内容を下級生や家庭・地域の前で力強く発表した。6年生の自信と誇りに満ちた姿は、下級生にとっての励みとなった。

**課題**：6年間の集大成である卒業の日の6年生の姿を、より多くのかかわってくれた人たちにってもらいたかった。児童の成長の姿は、見てくれる人達の夢や志も高めてくれると思う。

**その他**：学校教育活動全体を通して「人としての生き方」と関連付けて作成した学校経営ビジョンを、PTA総会で保護者に説明したことや担任が学年の発達段階に応じて志教育の大切さを児童や保護者に説明したことは、大変効果的であった。

※この実践事例は、大崎市立長岡小学校の取組です。

## (2) 領域にかかわる実践事例

### 実践名：わたしの周りのすてきな人

領域：総合的な学習の時間（6年）

実施期日（期間） 平成23年5月25日（水）～7月8日（金）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・**もとめる**・**はたす**）

- 自分たちの地域出身の齋藤眞医学博士について調査し、教材化を図った本校元校長宮嶋健先生（旧小牛田町教育長）とかかわる中で、齋藤博士の偉業への尊敬の念を抱かせる。（かかわる）
- 齋藤博士が夢を抱いた経緯や夢の実現に向けて努力し続けた姿に触れることで、自らの生活を振り返り、よりよい生き方を主体的に求めようとする態度を養う。（もとめる）
- 郷土の良さに気づき、社会貢献の視点で自らの生き方を考え、将来に向かって学ぼうとする意欲を高める。（もとめる）

#### 具体的な学習・活動の流れ

- 齋藤眞博士について知る。＜5月25日＞
  - 宮嶋先生が作成した教材を用いて齋藤博士について調べ学習を行い、疑問や知りたいことを質問としてまとめる。
- 齋藤眞博士について学ぶ。（かかわる）＜6月16日＞
  - 齋藤博士に関するパネルが多数展示されている青生コミュニティにて、宮嶋先生から話を聞き、齋藤博士の生き方を学ぶ。
- 自分を振り返り、将来について考える。（かかわる・もとめる）＜6月16日・23日＞
  - 齋藤先生の生き方と自分の生活を比較し、将来の生活の在り方を考える。
  - 「楽天イーグルス未来塾」を通して、夢を持って生きることの大切さを知り、自分の将来について考える。
- 学習を振り返る。（かかわる・もとめる）＜～7月8日まで＞
  - 学んだことを個人新聞にまとめ、発表を行う。

#### 指導のポイントや手立ての工夫

- 自分たちの地域から脳医学の先駆者（日本で初めて脳外科手術を行い、後進の育成に尽力した）と言われる博士が輩出されていたことを学ぶことにより、地域を見直させるとともに、自分にも何かできるのではないかと夢と希望を抱かせる。
- 将来に向かって学ぼうとする意欲を高めるとともに、自分の在り方・生き方を考えさせるために、楽天球団の地域密着活動を活用し、地域と協働の学習を設定する。

#### 実践を振り返って

**成果**：地域に碑は建っているものの、どんな人がほとんど知らなかった齋藤眞博士について詳しく学んだことで、自分たちの地域を改めて見直すことができた。また、「夢」というとどこか遠いもののように感じていた児童が、宮嶋先生に直接教えてもらい、かかわる中で齋藤博士の生き方をより身近に感じ、自分の生活を振り返ることができた。個人新聞には、博士について学んだ感想だけでなく、宮嶋先生への感謝の言葉や自分の将来の生き方についての記述も見られた。

**課題**：本学級の児童は自己肯定感がやや低く、自己有用感はさらに低かった。本単元と関連させて、学級活動で自分の良さについて自己評価や相互評価を取り入れ、自己肯定感・自己有用感を向上させる活動を行ったことで、改善が見られた。キャリア教育と関連させるとさらに効果が得られたのではないかと思う。他教科・領域とどのように関連付けていくかが今後の課題である。

**その他**：本単元で学んだことや高まった力を次の単元以降に生かしていけるよう活動計画を見直し、長いスパンに立った指導が行えるようにしていきたい。

※この実践事例は、美里町立青生小学校の取組です。

日本脳神経外科の創始者 齋藤 眞 博士



宮嶋先生の話聞く子どもたち



脳手術中の博士



パネルを見てメモを取る子どもたち

※ 齋藤眞博士について、宮嶋先生から話を聞いたり、青生コミュニティで齋藤博士に関するパネルを見てメモを取る子どもたちの様子です。

## (2) 領域にかかわる実践事例

### 実践名：先輩に学ぶ（鼎談）

領域：業前・お話朝会（開校記念式について）

実施期日（期間） 平成23年10月28日（金）

志教育にかかわるねらい（かかわる・**もとめる**・はたす）

- 先輩方が夢を抱いた経験や、志をもち続け、努力を重ねてきたことを知ることで、夢を志に高め、自己実現に向けて努力しようとする気持ちをはぐくむ。（もとめる）

具体的な学習・活動の流れ

- 卒業写真から本日のゲストを当てる。
  - ゲストの小学校時代の写真を紹介し、期待を高める。（入学式の写真、修学旅行の写真、個人の写真）
  - ゲスト登場。（本校栄養士、本校教員補助員）
- 先輩の話聞く。＜校長とゲストの鼎談形式＞
 

名前は何ですか。  
鬼首は好きですか。  
仕事は何をしていますか。  
鬼首のどんなところに魅力を感じますか。  
小学校の時はどんな女の子でしたか。  
小学校の時の夢は何でしたか。  
小学校の時の思い出について教えてください。  
当時、マーチングの活動は、楽しかったですか。  
今の自分の夢や目標は何ですか。  
卒業生として、鬼首小学校の子どもたちにメッセージをお願いします。
- 終わりに校長の話聞く。



指導のポイントや手立ての工夫

- 身近な先輩の小学校時代の写真を見せたり、その時のエピソードに触れたりすることで、今の自分と同じように、みんな夢を抱いて大人になっていることを知り、児童が、自分も頑張る夢に近付けるように努力したいという思いを抱けるようにする。

実践を振り返って

**成果**：将来の夢として抱いていた道に向かって進んできた先輩方の話が励みとなり、夢を抱くことは、とても大切だと気付く児童が多かった。自分の夢の実現に向けて、進んでいきたいという思いを高めることができた。

**課題**：児童が夢に抱いている職業の方々に、直接質問できる場を設定するなど、夢を志に高めていけるように、児童の夢と実際の人物との架け橋となる手だてをさらに広げていきたい。

**その他**：身近な先輩からの言葉が、夢を追うことへの後押しとなり、同じ学び舎を巣立っていくことへの喜びを感じ取らせることができた。そして、開校記念式の意義を改めて認識させることができた。

※この実践事例は、大崎市立鬼首小学校の取組です。

## (2) 領域にかかわる実践事例

### 実践名：縦割り花いっぱい活動

領域：業前活動（全学年・縦割り班活動）

実施期日（期間） 平成23年6月13日（月）～11月10日（木）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・もとめる・**はたす**）

- ・ 縦割り活動で異年齢の児童が一つの目標に向かって作業することにより、発達段階に応じた人とのかかわり方を学ばせる。（かかわる）
- ・ 自分の分担を、真心を持って果たそうとする心情を育てる。（はたす）

#### 具体的な学習・活動の流れ

##### 1 夏季花壇づくり

- 5月 緑化委員会による花苗作り
- 6月13日 チューリップ球根の掘り起こし
- 6月16日 草取り、水やり



##### 2 秋季花壇づくり

- 11月10日 花壇片付け
- 11月11日～ 緑化委員会による球根植えの準備種の採取
- 11月16日 チューリップの球根植え



#### 指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 協力して作業をし、きれいな花壇ができあがる達成感を味わえるように、花が咲いた花壇の美しさを感じる機会を設定する。〈クラス写真の撮影・クラスごとの観察・縦割り班での鑑賞〉
- ・ 6年生を送る会などで「縦割り花いっぱい活動」に焦点をあてるようにすることで、次の学年への意欲につなげていく。

#### 実践を振り返って

**成果**：これまで行っていた縦割り班遊び、縦割り班給食に加え、共同作業を取り入れたことにより、協力して一つのことを成し遂げる体験を味わわせる場を作ることができた。

自分から進んで作業をしようとする児童が増えてきた。

高学年としての意識の高揚につながりつつある。

**課題**：児童の主体的な活動に近付けるよう、委員会活動を主体とした運営にしていきたい。児童の思いが表現できる活動を検討していく。

**その他**：自分たちの花壇という意識が持てるような活動にしていくことで、志教育のねらいに迫ることができると考える。

※この実践事例は、涌谷町立箕岳小学校の取組です。

## (3) その他の教育活動にかかわる実践事例

### 実践名：ランチタイムスピーチ

その他の教育活動

実施期日(期間) 平成23年4月～平成24年3月

志教育にかかわるねらい( **かかわる**・**もとめる**・はたす )

- ・ 教職員のスピーチを聞いたり、得意なことを発表する活動を通して、それぞれのよさに気付き、自分の得意なことをさらに伸ばし、これからの生活に生かそうとする気持ちをはぐくむ。(かかわる・もとめる)

具体的な学習・活動の流れ(1学期：毎日 2・3学期：毎週火曜日と木曜日)

#### 1 ステップ1「教職員による発表」(4月18日～5月24日)

毎日、全校児童がランチルームで一緒に給食を食べていることを生かして、教職員が児童に夢や希望を与えるスピーチを行う。

主なスピーチの内容

- ・ 暗唱課題にチャレンジ「宮沢賢治～雨にも負けず」 ・ 15秒でわかる「スーパー昔話」
- ・ 手品?それとも超能力?ちょっとあやしいテレパシー ・ 紙芝居「地震なんかに負けないぞ」
- ・ 妙技「リコーダー二重奏」 ・ 心に響く、深い話「共鳴」
- ・ 誰でもできる「丸美ママの3分クッキング」 ・ 桜満開、笑顔満開、いがあったでば「方言クイズ」

#### 2 ステップ2「教職員と児童による発表」(5月26日～)

ランチタイムスピーチを児童にも広げることにより、児童一人一人がよさに気付き、自分の得意なことを更に伸ばし、これからの生活に生かそうとする気持ちをはぐくむ。

主なスピーチの内容

- ・ プロも顔負け・名コンビ誕生「爆笑漫才～おむすび山」 ・ 豊かな感性!広がる世界!「詩の朗読」
- ・ あの感動をもう一度「運動会の感想発表」 ・ 広がる輪!児童と職員による「コント555号」
- ・ 柔道一直線、必殺技紹介!「体おとし、内股、一本背負い」 ・ リコーダー演奏と暗礁課題の発表
- ・ 真打登場「ゆうゆうこんぶのマシガン漫才」
- ・ みんなで読んでね!おすすめの本!「楽しい本の紹介」

指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 自分の得意なことをさらに伸ばし、これからの生活に生かそうとする気持ちをはぐくむために、教職員の話の聞いたり、得意なことを発表する場を設定する。



### 実践を振り返って

**成果**：教職員のスピーチを聞いていた児童に、自分も発表してみたいという気持ち生まれ、詩・作文・得意技の発表などを進んで行うようになった。そのことにより、児童一人一人がよさに気付き、自分の得意なことをさらに伸ばし、これからの学校生活に生かそうとする気持ちをはぐくまれた。

**課題**：児童の発表が上学年に偏りがちになったので、今後は低学年の発表の機会を多く設けるようにしていく必要がある。また、発表内容についてもマンネリ化することなく、さらにいろいろな分野に広げていきたい。

**その他**：今年度からはじめての試みではあったが、様々な発表が見られ充実した取組となった。今後は、何らかの形で保護者や地域の方々にもランチタイムスピーチの取組を伝えていきたい。

※この実践事例は、加美町立旭小学校の取組です。



15秒でわかるスーパー昔話



リコーダー演奏



広がる輪「コント5555号」



詩の朗読



柔道一直線「必殺技紹介」



心に響く、深い話「共鳴」

## (3) その他の教育活動にかかわる実践事例

### 実践名：朝会 校長先生の話

その他の教育活動

実施期日(期間) 平成23年7月4日(月)・9月5日(月)

志教育にかかわるねらい(かかわる・**もとめる**・はたす)

- 偉人の逸話を聞くことで、夢を抱いた経緯やその実現に向けて努力を重ねた結果、すばらしい業績を残したことに気付かせ、夢を持つとする気持ちをはぐくむ。(もとめる)

具体的な学習・活動の流れ(2時間扱い)

- 「いろいろなことに興味を持つ」と7月4日(月)
  - タイタニック号の沈没事故を取り上げ、無線を無視したことが沈没の大きな原因の一つであることを知らせ、無線通信の重要性をつかませる。無線通信を考え出した「マルコーニ」について「ヘルツ」の無線実験に興味を持ち、その後研究を続け、大西洋横断の無線通信に成功し、ノーベル賞を受賞したことを知らせる。
  - いろいろなことに興味を持ち、目標として頑張っていくことに意欲を持たせる。
- 『志を立てる』ということ9月5日(月)
  - 「目標」と「志」の関係について知らせる。大和ハウス工業会長の夢に向かって頑張ることへのメッセージと孔子のことばを引用し、「志」をかなえるためには、まず、「目の近い目標」から「少し遠い目標」を立てて、一步一步着実に取り組むことの大切さをつかませる。
  - 「目標を立てるとやる気が沸き、思わぬ力が出る」ということから、何をするにも「目標や志を立てる」ことが大切であることに気付かせる。
- 朝の会
  - 校長の話から、感じたことや思ったこと、これからの生活に生かしていきたいことなどを話し合わせる。



指導のポイントや手立ての工夫

- 夢を持つとする気持ちをはぐくむために、お話朝会の後の朝の会を利用し、自分の感想や思いを発表させ、それぞれの考えを交流する場を設ける。

実践を振り返って

**成果**：夢を持つことや目標を持つことが活動の意欲につながる事が分かり、行事等における個々の目標がより具体的なものになった。自己の目標を意識し、その達成を目指して、より意欲的に努力する姿が見られるようになった。

**課題**：今後も、時期を変え、夢を持つことや目標を持つことについての理解を深めるような内容の講話を考えていかなければならない。教職員の志教育への理解をより深めるための研修や講話も計画していく必要がある。

※この実践事例は、大崎市立高倉小学校の取組です。

## (3) その他の教育活動にかかわる実践事例

### 実践名：朝会 校長先生の話

その他の教育活動

実施期日(期間) 平成23年6月14日(火)・12月7日(水)

志教育にかかわるねらい(かかわる・**もとめる**・はたす)

- ・ 賀美石小学校の卒業生の活躍について具体的に知らせ、将来への希望を膨らませる。(もとめる)
- ・ 「第九」の作曲者ベートーベンを取り上げ、困難にあっても崇高なものを求める生き方に触れさせる。(もとめる)

#### 具体的な学習・活動の流れ

- 1 「創立記念日」に関連した話を聞く。  
「賀美石小学校の先輩」という話題で、これまでに活躍された先輩を知る。
  - ・ 氏家 武 さん...東京帝国大学卒 大蔵省国民貯蓄局長等歴任
  - ・ 尾形かつえ さん...バレーボールで活躍
  - ・ 板垣 紘子 さん...バレーボールで活躍
- 2 写真の人物について、校長と対話しながら考え、理解を深める。  
「自分は～」と今後や将来について考える。
- 3 作曲家ベートーベンについての話を聞く。



#### 指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 児童の興味を引くために、始めに写真を提示し、視覚に訴えながら話すようにする。  
<校長自ら、ホルン演奏をしたり、DVD映像を見せたりする。>
- ・ 「みなさんも～」「みなさんは、～」と各自に考えさせる投げ掛けをし、夢を持つきっかけをつくるようにする。



#### 実践を振り返って

**成果**：職員室前に通年展示してある先輩の写真だが、立ち止まってじっくり読む児童の姿は、これまで少なかった。「お話朝会」で校長が取り上げ、紹介するという方法で児童に関心を持たせることができた。

毎月1回「お話朝会」を設定し、校長が経験談、身近な話題などを話している。児童は、それぞれの学年に応じて「自分は～したい。」「自分だったら～。」と意見を巡らせている。

**課題**：児童は集中し、興味を持って聞いているが、1年から6年まで発達段階の幅が大きい。難しい言葉については、噛み砕いて話しているが、朝会後に各学級担任がさらに補足説明をする必要があった。また、学級の実態に応じて、話題について考えさせ、より思いを膨らませるための工夫が必要である。

**その他**：「お話朝会」の内容について、校長室便り「あけぼの」でも取り上げ、各家庭へ知らせている。家庭での話題になっているようである。

※この実践事例は、加美町立賀美石小学校の取組です。

## (4) 校内研修にかかわる実践事例

### 志教育校内研修会

#### 研修会の概要

平成23年7月22日(金)

- 1 開会行事
- 2 講話(講師:宮城県北部教育事務所 主幹 川田 尚)
  - (1) 志教育の概要
    - 「宮城県教育振興基本計画」より
    - 「みやぎの志教育プラン」より
  - (2) 志教育の実践と年間指導計画の作成
    - 志教育全体計画・年間指導計画について
- 3 閉会行事

演習「各教科・領域・その他の教育活動を志教育の視点から見直す」

#### 「演習」の内容

- 1 「志教育全体計画」で自校の志教育の目標,重点指導事項を確認する。【個人】
  - (1) 志教育の重点指導事項のうち1つを選び,ワークシートに転記する。(その後の話し合いのために学年部で統一)
  - (2) 選んだ重点指導事項の実践化のポイントを考えワークシートに記入する。
  - (3) 志教育の重点指導事項のポイントにかかわる教育活動を年間指導計画から探し,マーカーでチェックする。
- 2 志教育の視点を加えた授業を構想する。

色麻町立色麻小学校校内研修資料	
( )を通じて行う志教育	
氏名	
志教育の目標	地域社会やそこに暮らす人々とのよりよいかわり合いを通して、自らの生き方を考え、夢や希望をもって学ぶ意欲や態度を育てる。
重点指導事項(1つ選ぶ)	< かかわる ・ もとめる ・ はたす > ※視点を○で囲む
ポイント	
担当授業	教科・領域・その他の教育活動 第 三 年 級 国 語 科 等 (第 学 年)
志教育の視点	
1時間の指導の概要	
志教育に高める手だて	
備 考	

- 【学年部】
- (1) 学年ごとに年間指導計画のチェックを確認し合い,構想する教科・領域・活動を定める。
  - (2) 1時間の授業を想定し,志教育の視点を設定する。(1(1)を基に)
  - (3) 志教育にかかわる手だてを含めた1時間の学習の流れを考える。
- 3 グループごとに話し合った1時間の学習の構想を全体で協議する。【全体】
    - ・ 発表された事例で,志教育の重点指導事項に迫ることができるか協議する。

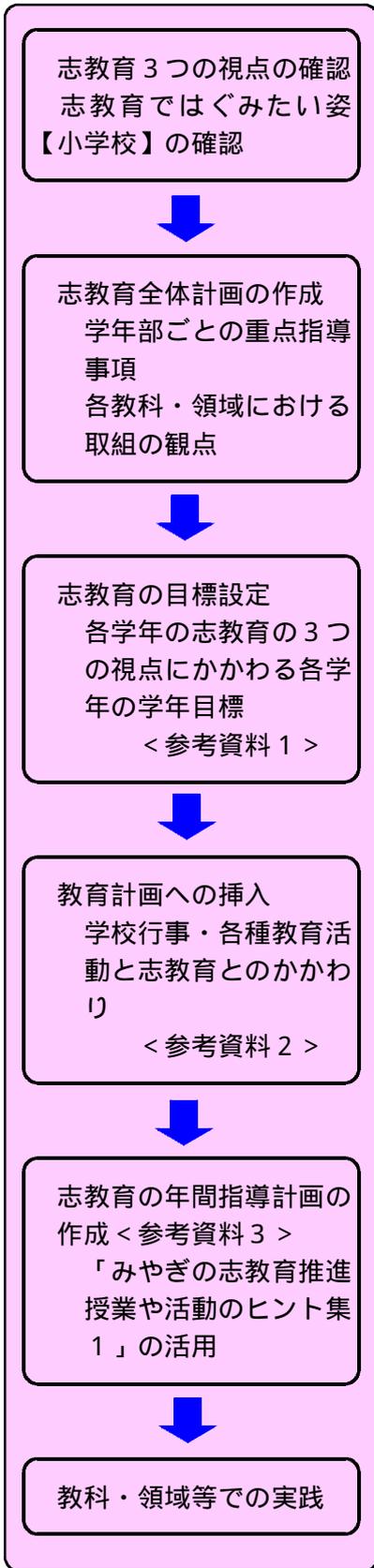
#### 実践を振り返って

- ・ 演習で取り組んだワークシートでは,本校の年間指導計画に位置付けられている各教科・領域の活動を,志教育の重点事項と照らし合わせた。そのことで,各活動の目標や内容が,志教育の目標とつながっていることを理解することができた。これまで本校が取り組んできた種々の教育活動が,志教育の一端を担っているものと明確にすることができた点においても大変有意義な研修の機会となった。

※この実践事例は,色麻町立色麻小学校の取組です。

(5) 志教育の取組にかかわる実践事例

志教育全体計画作成から実践までの流れ



< 参考資料 1 >

平成23年度 重点努力事項 具現化のための学年目標

学年	学校教育目標 → 重点努力事項	常時指導	朝の活動	行事		
1-3学年	志教育の推進(3つの視点) ○かかわる◎もとめる◇はたす ○友達と仲良く、親切にしようとする ◎自分の好きなもの、大切なものをもつ ◇よいことと悪いことがあることが分かる。係や当番活動に進んで取り組む	○基礎・基本の定着 ☆言語力・表現力向上	○心が教育の推進と規範意識の醸成	○身近な人々との交流を通して接することの良さ気づく □だれにでも明るく元気な挨拶や返事をする □ていねいな言葉遣いをする □時間を守る □静かに話を聞く	明るく落ち着いた学級	
2-3学年	○友達と仲良く遊び、助け合う ◎興味関心をもって学習や活動に取り組む ◇係や当番の活動に取り組むそれらの大切さが分かる	○漢字、カタカナの読み書きの定着 ○かけ算九九の定着 ○繰り上がり繰り下がりのあるたし算、ひき算の定着 ☆ことからの順序を考えて読んだり書いたりできる	○身近な人々に優しくしようとする心育てる □だれにでも明るく元気な挨拶や返事をする □約束や決まりの大切さを知る □話す人を見て話を聞く □丁寧な言葉遣いをする	○はつきりした言葉で挨拶や返事をする □ていねいな言葉遣いをする □読書活動 □約束や決まりを守る	明るく助け合う学級	
4-5学年	○友達と協力して、学習や活動に取り組む ◎目標をもち、自分の力で課題を解決しようとする ◇自分の仕事に責任をもち、最後までやり通そうとする	○漢字の読み書きの定着 ○たし算とひき算の定着 ○かけ算とわり算の基礎・基本の定着 ☆教材文の内容をとらえて読み、自分の考えをもつことができる	○互いに理解し合って、仲よく助け合う □話の内容を理解しながら、最後まで静かに聞く □正しい言葉遣いではつきりとした挨拶や返事、話をする □約束や決まりを守る	○友達を大切に、なかよく助け合う □場に応じた挨拶をする □下級生に親切にする □相手や場に応じた言葉づかいで話す □きまりの意義を知り進んで守る	知的で思いやりのある学級	
6学年	○思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立って考え行動する ◎生活や学習上の課題を見つけ自分の力で解決しようとする ◇係活動等の自分の役割を超え人のために役立つことを実行できる	○漢字の読み書き、言語事項の定着、読書習慣の定着 ○整数、小数、分数の計算(加減乗除)ができる ☆自分の考えを根拠を明確にして話したり書いたりする	○互いの違いを理解し友達の良さを見つけ、認め合う □下級生の世話をする □場に応じた挨拶や返事をする □相手や場に応じた言葉づかいや話し方をする □きまりの意義を知り、進んで守る	○友達に優しく接する ◎めあてをもちがんばる ◇自分の仕事を進んでする	○簡単なお話をしたり、本を読むことができる ○簡単な四則計算ができる	○友達となかよくする □元気な挨拶や返事をする □約束を守る

< 参考資料 2 >

理科経営計画
1 目標 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などをしたり、科学を追究しようとする児童を育成する。
2 学校教育目標の具現化のために (1) 観察、実験などの直接体験、科学的な見方や考え方を育成するために、実験用具の整備拡充を図る。 (2) 意欲を持って、自然の事象・現象を調べる活動を多く取り入れた授業を工夫する。 (3) 新学習指導要領に則った教材備品の整備を図る。 (4) 各単元の学習内容に合わせた教材準備を行い、学習指導の環境整備をする。 (5) 理科の学習や探求活動をおとして、自分で興味関心をもてるものを見つけたり、分からないことを深く追求し、解決しようとする力を育てる。また、学びをおして生活や将来の仕事への興味関心をもたせるようにする。
野外活動実施計画
1 ねらい (1) 雄大な自然の中で宿泊をともにする経験を通して、健康で明るい子どもの育成をめざす。 (2) 自然の中で体験活動を通して、自然や環境についてかわりを持つようとする。【総合】 (3) 自主的に活動する態度と根気強くやり抜く意志、思いやりと奉仕の心を養う。 (4) 友達と協力する中で、自分の責任を果たし人のために役立つ喜びを体験する。

<参考資料3>

第6学年 志教育年間指導計画

○・教科・領域の活動 \*・志教育の活動

期	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	特別活動	総合学習の領域	外国語活動	
1 学期	「伝え合おう、わたしの意見」 ○自分の考えや意図が伝わる工夫をして話す。 *自分のあこがれや志を理由と主に話す。【はたす】	「日本の歴史」 ○城山歴史資料館を訪ね、歴史学習への期待と興味を抱く。 *学芸員の歴史への思いや社会教育に携わる願いを聞く。【もとめる】			「いろいろなひびきを味わおう」 ○楽曲の特徴をつかみ、感想を書く。 *世界の作曲家について調べ、その「生き方」について考える。【かかわる】			「楽しい食事を工夫しよう」 ○いろいろな食品に含まれる栄養について調べる。 *作者について調べ、その「生き方」について考える。【かかわる】	「病気の起こりかた」 ○病気の原因について調べる。 *養護教諭に学校保健・安全に携わる願いを聞く。【もとめる】	「夢をつかまえよう」 ○より高い目標に向かって、より遠くまで進むことの大切さについて考える。 1-2不とう不思議 *自分のあこがれや志を実現するために、行うことを考える【もとめる】	「1年生を迎える会」 ○新入生をあたためよう。 *最高学年として、役割を自覚し、1年生のあこがれとなるよう行動する。【かかわる】		「Lesson 4」 ○I canの表現を用いて「今できること」を紹介し合う。 *教師や身近な人の「今できること」と共に、夢やあこがれについて聞く。【もとめる】
2 学期	「宮沢賢治」 ○文庫を読んだことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。 *作品に込めた賢治の思いについて考える。【かかわる】			「土地の様子」 ○地層を見学し、その地層の成り立ちについて話を聞いたりする。 *ロマン節の学芸員の方から探求の喜びについて聞く。【もとめる】			「味わってみよう、日本の美術」 ○日本の作品を鑑賞し、特徴や良さを調べる。 *作者について調べ、その「生き方」について考える。【かかわる】		「うちら」ネゴの手が「ボランティア」 ○勤労の意義を知る。 4-「輪」の軌跡 *進んで人のためになることを考える。【もとめる】	「花いっぱい運動」 ○<学活> ○よりよい環境をつくるために、進んで責任ある行動を取ることができる。 *地域の人のために、ちのちの関わりの中で社会性を育む【かかわる】		「Lesson 6」 ○I want to go to -を用いて「行ってみたい国」を紹介し合う。 *海外へのあこがれや夢・志とのかかわりを語る。【はたす】	
3 学期	「未来へのメッセージ」 ○目的や意図に合った形式を選択し、効果的な発表を考え、発表する。 *未来の自分へのメッセージを書く。【はたす】	「私たちの生活と政治」 ○人々の暮らしを守る政治の働きについて調べる。 *福祉センターを訪ね、担当者の方から福祉への願いを聞く。【もとめる】	「算数卒業旅行」 ○外国の算数や、江戸時代の算数の考え方を調べる。 *算数に関する国内外の数学者について話を聞く。【かかわる】						「あこがれのパティシエ」 ○自分の個性や長所を知り積極的に伸ばしていこうとする。 1-6個性の伸ばしをどのように生かしていきたいかを考える。【もとめる】	「ようこそ先輩」 ○<学活> ○将来に向けて努力しようとする態度を育てる。 *社会で活躍する卒業生の話を聞く。【もとめる】	「未来の浦谷町」 *これまで学んだことを生かし、あこがれや夢の実現に必要な情報を集める。【もとめる】 *自らの将来について語る。【はたす】	「Lesson 6」 ○I want to be -を用いて「将来の夢」を紹介し合う。 *将来の夢とその理由を簡単な英語で発表する。【はたす】	

6年 「学級活動」ようこそ先輩

<志教育の視点>【かかわる】

- ・震災後の生活を振り返り、家族とのかかわりや役割の大切さを考える。

<志を高める手立て>

- ・家族との関わりや家族の一員としての役割を感じさせるために、互いに思いを伝える場を設定する。

● 家族と震災時のことについて話し合い、家族との関わり方の大切さを実感させる。

この他にも

- ・4年生 総合的な学習の時間 「福祉ってなあに」
- ・6年生 道徳 「あこがれのパティシエ」
- ・6年生 学級活動 「花いっぱい運動」

などの実践がなされています。

6年 「学級活動」ようこそ先輩

<志教育の視点>【もとめる】

- ・社会で活躍している方の話を聞くことにより、自分の生き方を考え、中学進学や将来に向けて努力しようとする態度を育てる。

<志を高める手立て>

- ・目標に向かって努力しようとする気持ちを育てるための話の内容や場を設定を工夫する。

● 目標をもち、努力することで自己実現の可能性を感じさせる。

**実践の特徴**

- ・年間指導計画を作成する前に、全体計画に基づいた学年目標の設定や教育計画への挿入など、段階的な準備がなされている。校内での共通理解が実践に結びついている。

※この実践事例は、浦谷町立浦谷第一小学校の取組です。平成23年度第2回教務主任者等研修会で発表していただいた石井淳先生の資料から一部抜粋させていただきました。

(6) 学校だよりの参考事例

大崎市立西大崎小学校 学校だより

「もみのき」



大崎市立  
西大崎小学校

もみのき

学校だより  
平23.9.1  
No.6

人のために何かできること

校長 齋藤 圭子

長い夏休みも終わり、いよいよ2学期がスタートしました。  
「校長先生、おはようございます。」  
朝学校に着くと、真っ黒に日焼けした子どもたちが、笑顔で元気にあいさつをしてくれます。夏休みが終わり、学校にもまた賑やかな声の響く日々が戻ってきました。



この夏休み中、子どもたちは、家族での体験、各地区での子供会行事、スポーツ少年団の練習など、たくさんの貴重な経験を得て、充実した日々を送ったといえるようです。

夏休み後の始業式では、  
「プール頑張った人?」「野球・サッカーなどスポーツ頑張った人?」「勉強頑張った人?」「お手伝い頑張った人?」「友達とたくさん遊んだ人?」  
そのどの問いかけにも、「はい!」と大きな声で勢いよく手を挙げる子がたくさんいました。それぞれが、何かを頑張ったという充実感をもつことができた夏休みだったようです。

ただ、大人の私たちにとっては、被災したところの復興や、放射能問題に関連しての肉牛や農産物への問題など、たくさん心配事があり、心休まる時をあまりもつことができなかったというご家庭も多かったのではないのでしょうか。

2学期のスタートにあたり、子どもたちには、こんなお話をしました。  
「私がこの夏、心に残った2つの新聞記事のことです。被災地に入って何かをした人たちのことが書かれていました。何か自分にできることをしたいと遠くからボランティアに来て、どろにまみれながらも、汗水たらしてごみ片づけなどをした人たちがいました。その一方で、被災地に人が住んでいないことをいいことに、空き巣に入った人たちもいたのです。」



このあまりにも違う現実・・・人が弱っているところを見て、何か自分にできることはないかと考える人、人が弱っているところを見て、その弱みにつけこもうと考えてしまう人。それがその人たちの育ってきた環境であり教育であるとするなら、私は、「人のために何かできることはないか」と考えることができる子どもを一人でも多く育てたいと心から願います。

子どもたちが素直な心で学び合い、人のために何かしようと支え合うことを目指して、教職員一同、手を携えて2学期も頑張っていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いたします。

学校だより  
平23.10.1  
No.7

夢への挑戦

校長 齋藤 圭子

「夢は見るものでなく叶えるもの」。これは、女子ワールドカップで優勝し、大会MVPと得点王を獲得した日本女子サッカー代表なでしこジャパンのキャプテン澤選手の言葉です。夢を持つことは大切ですが、ただ夢みているだけでなく、必ず夢を叶えるのだという強い気持ちを持ち、それを実現するために一生懸命努力し続けていくことが大事なのだと言っているのではないのでしょうか。



そして、試合の最後で声を掛け合う場面では、みんなに何と言っていたのか聞かれ、「とにかく楽しもう」と言ったら答えていました。これまで努力し続けてきた強い自信から出た言葉だと感じました。

私は、常に先生方や子どもたちに、「自分の夢を持つこと」「人との輪を広げ支え合うこと」の二つについて、よく話しています。夢までいかになくても、身近な目標であってほしいと思います。それへ向け、自分なりの努力をし続けていこうとする強い気持ちを持ち続けることが大切なのだと思います。そして、それは自分ひとりではやり遂げるまで至らないとしても、人と支え合っていけば、成し遂げることができる場合がたくさんあるはずです。



本校では、今年度の校内研究に学級活動の領域を選び、研究テーマを「自分の考えを持ち、学び合い、高め合う児童の育成～伝え合う力を生かす活動を通して～」としています。学級のみならず自分の目標について話し合い、その取り組みについて具体的に考えを出し合い、その後自分の取り組みについて振り返って学び合う、そんな授業を先生方同士で見せ合って、研究を進めています。

この取り組みの中で、子どもたちは自分の夢や目標についてしっかりと向き合う姿勢を学んでいるなあと感じています。それが、将来のことだったり、今の学習や学校行事だったり、自分の気持ちを向けるものは各自様々です。しかし、どのような場面においても、それぞれが自分の目標にしっかりと向き合い、それをみんなの前で話すことで、努力していこうとする強い姿勢を見せてくれています。

修学旅行、政宗公祭り、大崎陸上大会、音楽祭の練習、最近の学校生活の中でも、ひたむきに努力する子どもたちの姿がたくさん見ることができました。みんなそれぞれ目標に向かって磨き合う、そんな姿勢をこれからも大切に、教職員で手を携えて、子どもたちと向き合っていきたいと考えています。



大崎市立  
西大崎小学校

## もみのき

学校だより  
平23.11.1  
No.8

### 立ち位置を確かに 夢や志をもって

校長 齋藤 圭子

校舎から見える校庭の木々はすっかり色づき、秋の深まりを感じさせるこの頃です。4月にここに赴任して早半年が経過しました。時が過ぎるのがとても早い気がします。

大震災の影響で様々なことが延期や中止になりました。それがここへきて、学校内でも学校外の他のことでも、急速に実施に至ることが多くなったせいか、いろいろと走り回ることも多く、大変忙しい毎日を過ごしています。

先日は、全国校長会で山形まで行ってきました。そこで語られた中で、心に残った言葉に「立ち位置を確かに」という言葉がありました。変化の激しい時代を生きる私たちは、今、何を信じて、何に価値を見出し、何を指して進んでいったらいいか迷うことがとても多くあります。そのような先行きが不透明な時代だからこそ、自らの「立ち位置」を確かにして、目指す「夢や志」をしっかり持って、前に進むことが大事であるということです。

「立ち位置を確かに」とは、どんなことがあっても流されない自分がないてはなりません。これまでの変わらぬよさを理解しながらも、変わることも確に対処していく力をつけなければなりません。目の前にいる子どもたちを見ながら、今その言葉をかみしめています。どんな変化にも対応する力を持ち、ともに支え合って、自分の「夢や志」に向かって、強く立ち向かっていく子どもを育てていく大切さを改めて感じています。

そして、そのような姿勢がこの西大崎小の子どもたちの中に、確実に育ってきているなあと、この頃感じるものが多くなってきているような気がします。自分のめあてに向かって走り続けた持久走大会、みんなと心を合わせて美しいハーモニーを奏でた市内音楽会、様々な人との出会いで学んだ校外学習や体験学習など、たくさんの成果を見ることができました。普段の授業の中でも、子どもたちのいきいきとした笑顔をどのクラスでも見ることが出来ます。安心できるのびのびとした自分の居場所があり、学び合っているからこそ、みんなの成長があるのだと思います。

子どもたちの「立ち位置」をより確かに、そして夢や志をしっかりもって、前へ進む子どもの育成をめざして、教職員と力を合わせて、今後も引き続き頑張っていこうと思っています。



### めあてを持って力走！ 持久走大会 10/4



秋晴れの中多くの保護者のみなさんの応援をいただき、持久走大会が無事終了しました。今年は、学芸会の期日変更に伴い、1ヵ月早い実施となりましたが、子どもたちはそれぞれのめあてを目指し最後まで力一杯走りきることができました。自己ベストを出し満足げな子もたくさんいましたが、思い通りの順位になれず悔しがる子もいます。どんな結果でもみんなが全力で取り組み、自分に負けない気持ち育てるよい機会になったと感じています。

### 地域の伝統を学んで 5年総合 竹細工づくり 10/13

岩出山の伝統工芸である竹細工を学ぶ学習を5年生が体験しました。当日は、竹工芸館の方2名の指導のもと、一人一人が夢中になって一輪挿しや竹とんぼの製作に取り組み、完成させました。

出来上がった作品は、11月15日(火)にある互市で販売することになっています。この学習を通して、子どもたちは地域の特色と歴史に触れ、故郷への愛着をさらに深めていくことと思います。



### 学校だよりの特徴

- ・ No. 6「人のために何かできること」、No. 7「夢への挑戦」、No. 8「立ち位置を確かに 夢や志をもって」と3号続けて、志教育にかかわる校長先生の話が掲載されている。児童や保護者に継続的に思いを伝え、それが児童の変容につながっていることがよく分かる。

## (6) 学校だよりの参考事例

美里町立中埴小学校 学校だより

### 「中埴小だより」

～夢(志)に向かってチャレンジする子どもの育成～

## 中埴小だより

No. 7

美里町立中埴小学校

～夢に向かってチャレンジする子どもの育成～

平成23年9月30日

2学期が始まって、早くも1か月が過ぎました。残暑が厳しい中、水泳記録会、修学旅行、「先輩に学ぶ」などの行事を通して、子どもたちはたくさんの素晴らしい体験・学習をすることができました。これからは、遠田郡音楽祭、学芸会の発表があります。子どもたちも先生方も、心に残る発表をめざしてがんばっています。

### 「先輩に学ぶ(志教育講話)」

9月22日 本校卒業生で、世界一の望遠鏡「すばる望遠鏡」の製作者である 三神 泉 様をお迎えし、生い立ちから「すばる望遠鏡」の完成に至るまでのお話を、たくさんの資料を見せていただきながら聞くことができました。子どもたちは、夢に向かってがんばることの素晴らしさを教えていただきました。「たくさん遊んで体をしっかり作り、たくさん勉強して、自分はこのが好きだ、というものを見つけてください」とお話されました。最後に、趣味のトランペットの演奏も披露されました。「中埴から世界へ、宇宙へ」の演題どおり、子どもたちの夢を膨らませるすばらしいエールをいただきました。



### 講話朝会

9月6日(火)

今回の講話朝会は、運動着に着替えて体育館で行われました。笛に合わせて、校長先生と同じポーズや動作をします。簡単にできるものもあれば、難しいものもありました。みんなが笑顔で、いい汗をかきました。



### 岩手を満喫した修学旅行!

9月7・8日修学旅行が実施されました。今年は、震災・放射線の関係で、岩手盛岡方面に行ってきました。地図やパンフレットとにらめっこして計画した自主研修は、想定外の出来事もありましたが、子どもたちは、力を合わせてたくさんの収穫を得ることができました。美里町では体験できないことやおいしいものに、たくさん触れて帰ってきました。

出発時にちょっぴり不安そうだった顔が、やり遂げた自信にあふれた表情で帰ってきた6年生。これからも、力を合わせて、中埴小学校を引っ張って行ってほしいと思います。



## 貴重な体験「もちつき」・「理科実験」

5・6年生が、地域の方々、総務部の皆様にご指導、お手伝いいただき、学校田でもち米を育てました。田植え・稲刈り・とっけす・脱穀の作業を経て、無事収穫することができました。そのもち米について、今年のはたわり班毎に、全員できなこ餅にして食べました。もち米は、給食部の方々にふかしていただき、きららクラブの澤村美子さん、瀬戸桂子さんはじめ地域の方々に餅つきを指導していただきました。子どもたちは、慣れない手つきながら、餅つきを楽しむことができました。

また、昼食時には、給食部の方々が作ってくださった豚汁を食べました。何度もおかわりをする児童もいるほど、大変おいしくいただきました。給食部の皆様には、前日の仕込みをはじめ、鍋や餅つき器などを準備していただき、大変ありがとうございました。

午後からは、PTA旅行に変わるPTA講演会が実施されました。「親子で楽しく理科実験」をテーマに、驚きの歓声上がる時間でした。企画・準備にあられた文化広報部の皆様に感謝申し上げます。



<餅つき体験>



<6年生がきなこ餅にしました>



<みんなできなこ餅を食べました>



<昼食には豚汁も食べました>



<おかわりに大忙しの給食部の皆さん>



<不思議！おいしいアイスになりました>

### 11月1日 お話朝会

「富士山は、日本一高い山で3776m。エベレスト（チョモランマ）は、世界一高い山で8848mです。みんなも何でもいからクラスで一番になってほしいです。今日は、世界一高齢の詩人、柴田トヨさんの詩を紹介します。」「貯金」「朝はくる」「がまぐち」を柴田トヨさん自身の朗読で聞きました。「意味は説明しないので、自分の中に生まれた気持ちを大切にしてください。」



## 楽しい冬休みに

大人にとっては何かと気ぜわしい年の瀬ですが、子どもたちにとっては楽しい冬休み。冬休みのめあてや、けじめのある安全な生活をするための約束について指導しました。ご家庭でも声がけと目配りをお願いします。

中埴小学校「五つの心」と「志教育の視点」で有意義な冬休みに！

「謙虚な心」で、人と「かかわろう」

すみませんと自分の過ちを認めることができる子どもになりましょう。

「明るい心」で、人と「かかわろう」

あいさつ・返事・後始末でけじめのある子になりましょう。

「積極的な心」と「素直な心」をもって、社会での役割を「はたそう」

進んで働く子ども・素直な心で働く子どもになりましょう。

「感謝の心」と、夢をもって、よりよい生き方を「もつめよう」

1年を振り返り、お世話になったいろいろな人に、いろいろなことに「ありがとう」という心もちましょう。

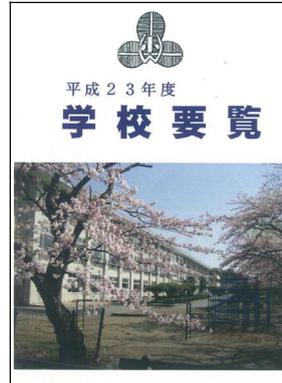
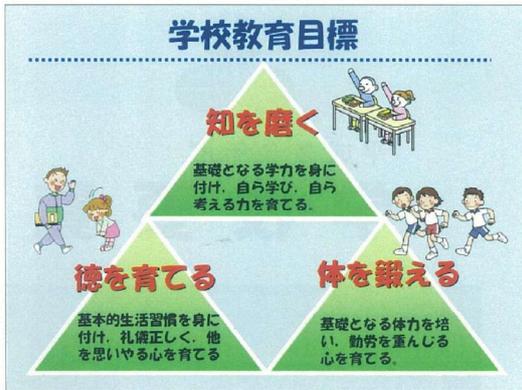
※1年の振り返りと、新年への抱負をもちましょう。

### 学校だよりの特徴

- No. 7では「先輩に学ぶ（志教育講話）」として、卒業生の 三神 泉 さんの講話を特集している。また、毎号校長先生の講話朝会の内容が紹介されている。
- 12月10日発行のNo. 10では、「楽しい冬休みに」と題して「中埴小学校『五つの心』と『志教育の視点』で有意義な冬休みに！」が示されている。具体的で児童に分かりやすい内容になっている。

(7) 学校要覧の参考事例

涌谷町立涌谷第一小学校



**目指す児童像**  
すすんで学習し、よく考える子  
礼儀正しく、思いやりのある子  
体をきたえ、すすんで働く子

**学校経営の方針**

学校教育目標をうけ、「夢をいだき夢に向かって進める子」を育む活力ある学校づくりをめざし以下の4点を基本方針に据える。

- ( ) は支える教師集団像
- ◎ 「学びの場」としての学校教育を実現するために、授業づくりを中心課題ととらえ、基礎・基本の定着と将来に向けて生きて働く学力を身につけられる児童の育成に努める。(学力を保障できる教師集団)
- ◎ 教育の中核に「人間尊重の精神」を掲げ、人との関わり合いを大切に心した心の教育を進めるとともに、自らの健康・安全に気を配れる児童の育成に努める。(子どもと共感できる教師集団)
- ◎ 子ども主体の教育活動を実現する情熱と気力を持ち、協働の精神で、全職員が経営参画できる組織づくりに努める。(協働し本気で取り組む教師集団)
- ◎ 幼・小・中の連携や家庭・地域との連携を進めながら、なめらかな発達保障されるように努めるとともに地域の教育力を生かした体験活動を取り入れ、地域に開かれた学級・学校づくりに努める。(連携を推進できる教師集団)

**重点努力事項**

- ① 志教育の推進
  - 個における”目標づくり”の連続性の推進
  - 『かかわる』『もとめる』『はたす』の具体目標をあげての実践
- ② 自ら学び、考える力の育成
  - 基礎学力(読み・書き・計算)の定着
  - 「確かに表現できる力」を育てる実践研究の取組
- ③ 心の教育の推進と規範意識の醸成
  - 思いやりの心を育てる学級づくりとよりよい対人関係の構築
  - よりよい挨拶・返事・話の聞き方・言葉づかい等の定着
  - 規則尊重・自主性を中心とする徳性の涵養

(1) 志教育の推進

- ① 全体計画に基づいた年間指導計画の作成
- ② 志教育の意義についての認識を深化させる  
…事例発表会での情報交換等
- ③ 道徳教育を通じた指導…「みやぎの先人資料集」の活用等
- ④ 特別活動を通じた指導…認め合える人間関係づくり  
(たてわり活動, 善行の奨励等)

(2) 自ら学び、考える力の育成

- ① 基礎・基本の徹底
  - 基礎学力(読み・書き・計算) 醸成  
…チャレンジタイム, 補充学習の充実(夏休み, 放課後)
  - 算数科校内研究を通じた取組

【校内研究テーマ】

- 自分の考えをもち、確かに表現できる力を育てる指導の在り方  
～算数的活動を生かした授業を通して～
- 読書活動の推進
  - ② 分かる授業づくりのための指導形態の工夫
    - 3年生以上の算数科における少人数指導の実践
  - ③ 一人一人を生かし、支援する授業づくりと指導方法の工夫改善
    - 中・高学年における一部教科担任制の実施
  - ④ 「総合的な学習の時間」の創意工夫と実践
  - ⑤ 児童主体の体験的学習の重視
  - ⑥ 幼・小・中の連携…幼小交流会, 小中連携事業の実施
- (3) 心の教育の推進と規範意識の醸成
- ① 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成…善行の奨励
  - ② 一人一人を認め合える学級づくり
  - ③ 道徳教育の充実と心の教育重点化指導の推進
  - ④ 感動体験のある教育活動の実践
  - ⑤ マーチングバンド活動を含む諸教育活動を通じた人間関係づくり

**学校要覧の特徴**

- ・ 学校教育目標を受け、学校経営の基本方針として「夢をいだき夢に向かって進める子」を掲げている。また、重点努力事項の一番目に「志教育の推進」を挙げ、具体的な取組として、事例発表会での情報交換や道徳教育における「みやぎの先人資料集」の活用、特別活動における「たてわり活動」などを示している。

(7) 学校要覧の参考事例

大崎市立松山小学校

1 授業改善を核とした学力向上の取組【わかる授業の展開と学習習慣の形成】

(1) 授業の改善【わかる授業の展開と学習習慣の形成】

- 系統性を大切にしながらわかる授業の展開
- 授業と家庭学習の融合による学習習慣の形成
- PDCAサイクルを意識した授業改善
- 指導方法の工夫・改善(習熟度別指導, 少人数指導など)

(2) 教師の資質や指導力の向上【学び合い, 高め合う教師集団】

- 教科や総合的な学習の時間, 特別活動の指導力向上のための研修の充実
  - 模擬授業やワークショップによる授業研究を取り入れた研修
  - 系統性を大切にしながら授業展開の研修
  - 児童一人一人の実態に即した指導法の研修
  - 探究的な学習や問題解決的な学習の指導法の研修
- 校内研究体制の確立と全教職員の共同研究の推進

(3) 志教育の充実

社会的自立に必要な基礎力(松山小では学力の一つと押さえる)を培う探究的な学習活動を大切にしながら志教育の推進(地域産業の就労体験学習や, 地域の伝統文化に自ら探究的にかかわる体験学習, 将来の自分の生き方を考える福祉体験学習進路学習)自らの生き方や進路に関する夢と希望を育む志教育の推進  
地域との協働を大切にしながら志教育の推進(松山地区学校支援地域本部を活用した地域人材, 地域資源の積極活用)  
計画的, 組織的, 系統的な指導の推進

2 家庭, 地域社会との協働の推進【地域とともに歩む学校づくり】

- (1) 家庭, 地域の教育力を学校教育に生かす体制整備  
「松山地区学校支援地域本部」による地域の人材や資源の活用  
松山すけっと隊, 見守り隊 etc.
- (2) 学校運営・教育活動に関する積極的な情報発信  
学校だより, 各種たよりの配布・HPの開設
- (3) 児童の地域活動の充実  
地区の清掃活動, 地区まつり等
- (4) 地域の方々への来校機会の拡充  
地域への授業公開(授業は原則随時公開)  
運動会・学芸会等の学校行事等
- (5) 家庭・地域と協働した志教育の充実  
松山地区学校支援地域本部の積極的な活用
- (6) 学校評議員制度の学校経営への活用
- (7) 学校評価の実施と結果公表



みんなで生きる社会

3 豊かな人間性や社会性を培う教育

- (1) 道徳教育の充実  
道徳の授業の充実([心のノート]や社会人講師活用など)  
全教育活動の中での道徳教育の推進
- (2) 生活習慣の定着を目指した生徒指導の充実  
松山っ子の合言葉「へんじ あいさつ くつらべ」  
生活リズムの定着「はやね はやおき あさごはん」



あぜみち探検隊



豆マメ探検隊



金津流松山獅子躍

社会的自立に必要な基礎力を培う志教育の推進

- 1 目的  
社会的自立に必要な「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」を培う。
- 2 地域と協働した体験学習
  - (1) 地域産業の就労体験学習  
大豆を栽培しよう「豆マメ探検隊」3年生  
地区内にあるみそ工場との協働で実施する, 種まきから収穫に至るまでの一連の栽培活動と, 収穫した大豆を使ったみそづくりまでの体験学習  
学習田での米づくり「あぜみち探検隊」5年生  
学習田で, JAみどりの青年団と協働し, 種まきから脱穀まで年間を通した「米づくり」の就労体験学習  
収穫米による餅つきやわら細工も実施
  - (2) 地域の伝統文化に自ら探究的にかかわる体験学習  
伝統的な踊りにふれよう  
「金津流松山獅子躍」6年生  
松山地区の伝統芸能「金津流松山獅子躍」の習得に取り組む。4年生から練習を始め, 6年生になってようやく装束を着て踊ることができるようになる。地区のお祭りなどで発表し, 地域にかかわる活動をしている。  
江戸時代に編み出され, 一時途絶えたが地元の保存会により復活させたもの。獅子の装束をつけて太鼓をたたきながら歌い踊る大変勇壮な踊り。
  - (3) 将来の自分の生き方を考える福祉体験学習  
福祉について調べよう「みんなで生きる社会」4年生  
社会福祉協議会の支援を受けた独居高齢者団体「いきいきクラブ」との交流学習, 車イスや白杖体験などのキャップハンディ体験学習, 日本盲導犬協会協力を得た「盲導犬とふれあう」体験学習

学校要覧の特徴

- 特色ある取組の中に, 「志教育の充実」が掲げられているが, 別に項立てをし, 「社会的自立に必要な基礎力を培う志教育の推進」が示されている。その中で, 特に「社会と協働した体験学習」を取り上げ, 就労体験学習・地域の伝統文化に自ら探究的にかかわる体験学習・福祉体験学習を重視している。

## 大崎地区中学校の実践事例

- (1) 教科にかかわる実践事例  
大崎市立三本木中学校
- (2) 領域にかかわる実践事例  
涌谷町立笹岳中学校  
大崎市立松山中学校  
美里町立小牛田中学校  
加美町立小野田中学校  
涌谷町立涌谷中学校
- (3) 教科・領域にかかわる実践事例  
大崎市立古川北中学校
- (4) 学校だよりの参考事例  
色麻町立色麻中学校
- (5) 学校要覧の参考事例  
大崎市立古川北中学校  
美里町立南郷中学校



大崎市立松山中学校

## (1) 教科にかかわる実践事例

### 実践名：「名づけられた葉」自分らしさとは

教科：国語科（1年）

実施期日（期間） 平成23年4月22日（金）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・**もとめる**・**はたす**）

- 国語の教科書の最初の学習材である「名づけられた葉」という詩の学習の後に、読み取った主題と関連させて、生徒一人一人に自分と他者とのかかわり（かかわる）や自分の在り方（もとめる）、果たすべき役割（はたす）を考えさせることで、学校や将来の社会でよりよく生きようとする気持ちの高まりを図れるのではないかと考えた。

#### 具体的な学習・活動の流れ

- 詩「名づけられた葉」を読んで、作者からの「自分だけの人生を、自分らしく精一杯生き切らなければいけない」というメッセージを読み取る。
- 中学校生活のどんな場面で、どんな自分らしさを発揮できるか考えて書く。
- 将来、社会で自分らしさを発揮できる場面や仕事を思い描いて書く。

名づけられた葉 新川和江	ポプラの木には ポプラの葉 何千何万芽をふいて 緑の小さな手をひろげ いっしんにひらひらさせても ひとつひとつのひらに 載せられる名はみな同じポプラの葉	わたしも いちまいの葉にすぎないけれど あつい血の樹液をもつ にんげんの歴史の幹から分かれた小枝に 不安げにしがみついた おさない葉っぱにすぎないけれど わたしは呼ばれる わたしだけの名で 朝に夕に	だからわたし 考えなければならぬ 誰のまねでもない 葉脈の走らせ方を 刻みのいれ方を せいいつばい緑をかがやかせて うつくしく散る法を 名づけられた葉なのだから 考えなければならぬ どんなに風がつよくとも
-----------------	---	--	---

#### 指導のポイントや手立ての工夫

- 中学校生活を始めたばかりの時期を捉え、改めて自分を見つめさせることで、生活への希望や期待を確かなものにする。

#### 実践を振り返って

**成果**：生徒は自分自身をよく見つめ、自分の自分らしいよいところを見つけることができた。また、小学校の生活を思い出し、中学校生活や将来、仲間が自分を必要としている場面を想起しているようだった。

<生徒の記述から>

「自分らしいところは、いつも明るいところ。だれかが困っている時に、手伝ってあげたい。」「だめなものはだめと言える。将来、弁護士になって正しいことは正しいと訴えたい。」

**課題**：「アニメが好きだから漫画家。」「スポーツが好きだからスポーツ選手。」という者も少なくなかった。夢を抱くことを大切にさせながら、進路の学習や総合的な学習の時間の、自分の生き方を考える学習との関連を図っていきたい。

※この実践事例は、大崎市立三本木中学校の取組です。

## (2) 領域にかかわる实践事例

### 实践名：社会体験学習

領域：総合的な学習の時間（1年）

実施期日（期間） 平成23年11月15日（火）・16日（水）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・もとめる・**はたす**）

- ・ 世代間交流で、老人会の方々との交流を通して、積極的に人とかかわる。（かかわる）
- ・ 愛郷作業をすることで、笹岳地区に住む者としての役割をはたす。（はたす）

具体的な学習・活動の流れ（13時間扱い）

- 1 社会体験学習の事前指導＜H23.11.2＞
  - ・ 社会体験学習の概要の説明と班分けを行い、交流会の内容の話し合いをする。
- 2 社会体験学習1日目＜H23.11.15＞（かかわる）
  - ・ 老人会の方々から指導を受けながら、一緒にグランドゴルフをする。
  - ・ 老人会の婦人部の方々から指導を受けながら、一緒に「はっと汁」を作る。
  - ・ 「はっと汁」を食べながら、老人会の方々と交流会を行う。
- 3 社会体験学習2日目＜H23.11.16＞（はたす）
  - ・ 2班に分かれ、のの岳駅の清掃・笹岳公民館の清掃を行う。
- 4 社会体験学習の振り返り＜H23.11.16＞
  - ・ 体験学習を振り返り、2日間で学んだことを記録する。



指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 地域貢献したり、地域の方々とのかかわりを将来にわたり持つことができるように、中学生である今から愛郷作業や世代間交流を行う。



### 実践を振り返って

**成果**：老人会の方々との交流することで、他の人への思いやりの気持ちを持つことができ、人とのかかわり方を学ぶことができた。笹岳地区の住民が使用するのの岳駅や笹岳公民館を清掃することで、多くの生徒は「きれいになった。」という喜びと「地域のために貢献できた。」という気持ちを持つことができた。

**課題**：この体験学習で、地域の方々とのかかわりや地域のために貢献する気持ちが生まれたと考えるが、それを今後もはぐくんでいくことが大切であり、機会あるごとに意識して指導しなければならない。

**その他**：笹岳地区の老人会の方々には、これ以外の行事でもお世話になっており、忙しくても中学校の行事を優先して、多くの方に参加していただけたことがありがたかった。今後の活動においても、協力をお願いしていきたい。

※この実践事例は、涌谷町立笹岳中学校の取組です。

## (2) 領域にかかわる実践事例

### 実践名：夢・生き方講座

領域：総合的な学習の時間（全学年）

実施期日（期間） 平成23年10月5日（水）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・**もとめる**・**はたす**）

- 本校を卒業した先輩方の中学校時代の夢や志を持ち続けて努力をした話を聞くことにより、生徒一人一人に将来の夢や目標を持たせ、自己実現に向けて努力しようとする志を高めさせる。（もとめる）

具体的な学習・活動の流れ（2時間扱い）

- 1 「夢・生き方講座」の趣旨を知る。
- 2 先輩方（高校生・大学生・社会人）の話を聞き、自分の夢や希望について考える。
- 3 中学校の後輩たちへアドバイスをもらう。
- 4 先輩方との意見交換・質疑応答を行う。
- 5 まとめ（教室に戻って、学習の振り返り）を行う。



指導のポイントや手立ての工夫

- 夢を志に高め、自己実現に向けて努力しようとする気持ちをはぐくむために、本校の卒業生の話の聞いたり、交流したりすることから生き方を学び、将来を設計し実行する能力を身に付けさせていく。

### 実践を振り返って

**成果**：平成16年から3年間の「キャリア教育推進地域」文部科学省指定を受けて、工夫を重ねながら継続している取組の一つである。卒業生を講師として招き、中学校時代の夢や進路実現で努力したこと、これまでの経験からのアドバイスなどの話を聞くことにより、生徒一人一人に夢や希望を持たせ、将来の自分の生き方について考えさせる機会となっている。また、自分もこれから努力すればできるという自己実現の可能性を感じさせる機会にもなっている。

**課題**：講師として招く先輩の人選については、生徒の進路学習・キャリア発達の段階を踏まえながら、多様な選択肢を考えて、「夢・生き方講座」を計画していく必要がある。地元の産業界の人材をゲストティーチャーとして招くなど、講座の内容を膨らませていきたい。

**その他**：「夢・生き方講座」は、自由参観日として保護者の方々にも参加していただいている。また、協働教育の観点から、松山地域のコーディネーターにもかかわっていただき、講師の紹介や講座についてのアドバイスなどをしていただいた。今後とも、地域の方々にも協力してもらいながら計画を立てていきたいと考える。

※この実践事例は、大崎市立松山中学校の取組です。

## (2) 領域にかかわる実践事例

### 実践名：誓人式

領域：総合的な学習の時間（全学年）

実施期日（期間） 平成23年2月5日（土）

志教育にかかわるねらい（**かかわる**・**もとめる**・はたす）

- ・ これまでの人生において支えてくれた人々への「感謝」の気持ちを表現し、伝える機会とする。（かかわる）
- ・ 「立志式」のイメージで、卒業を控えたこの時期に将来への見通しを立てさせる。（もとめる）
- ・ これからの人生において、よりどころとなる「誓い」を立て、集団や社会の一員としての自覚を深める機会とする。（かかわる）

具体的な学習・活動の流れ（3時間扱い）



- 1 卒業に向けて感謝の気持ちを表す場が、2月に設定されていることを確認する。
- 2 趣旨を踏まえ、誰に伝えるか各自考える。
- 3 感謝したい気持ちを作文にする。（原稿用紙1枚程度）
- 4 3年生全体で士気を高め、これまで深めてきた友情の総決算として1つの歌を披露することを確認し、練習する。

- 5 全校生徒と3年保護者の前で誓人式を行う。
  - ・ 学級ごとに壇上に上がり、一人一人感謝の気持ちを発表する。
  - ・ 最後に全員が壇上に上がり、卒業式とは違う歌を披露する。
- 6 誓人式を終えての感想を書き、廊下掲示をして、互いの感想を知り、残り少ない学校生活を充実させようという気持ちを新たにす。



指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 新たに設定した行事なので、自分たちが最初に一步を踏み出し伝統を作り出していくのだという責任のもとに取り組ませた。（平成23年度は2月下旬に実施予定）



実践を振り返って

**成果**：一昨年度に形を作り、昨年度正式に始めた活動である。卒業を1か月後に控えた慌ただしい時期に、落ち着いて一人一人が気持ちを表現できるか不安であったが、全員がしっかり暗記し、堂々と発表していた。

**課題**：昨年度は全校生徒に聞かせたが、学年扱いで進めていくか、行事として定着させるか兼ね合いが難しい。また、一人1分で設定していても、発表が長引く生徒もいたので、事前指導をしっかり行う必要がある。

※この実践事例は、美里町立小牛田中学校の取組です。

## (2) 領域にかかわる実践事例

### 実践名：バイオリンとギターのデュオコンサート 「先輩 広い世界を教えてください」

領域：学校行事

実施期日（期間） 平成23年7月20日（水）

志教育にかかわるねらい（かかわる・**もとめる**・はたす）

- ・ 夢を抱いた経緯やその実現に向けて努力を積み重ねた結果が、現在の姿（職業や生活）につながっていることに気付かせ、夢を持つとうとする気持ちをはぐくむ。（もとめる）

具体的な学習・活動の流れ（1時間扱い）

- 1 開会
  - 2 講師紹介
  - 3 演奏及び講話 中学校時代の夢と現在に至る経緯などを中心に話してもらう。
  - 4 質問コーナー
  - 5 校長先生の話
  - 6 お礼の言葉
  - 7 閉会
- 帰りの会で、コンサートを振り返り、感想を書く。



指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 生徒にとってより身近な存在である卒業生（先輩）を講師として迎え、生の演奏や話を聞いた。卒業生から、夢を持つことの大切さやその実現のためには多くの努力の積み重ねが必要なことを聞くために、場の設定を工夫した。
- ・ 考えを深めたり、夢を持つことの大切さを確認できるように、質問をする時間を設けた。



実践を振り返って

**成果**：ゲストのことを知っている生徒もあり、自分たちにより身近な存在としてとらえることができた。身近な存在のゲストが、全国的に活躍していることを肌で感じ、夢の実現に向かって努力した内容を生の声で聞き、大きな刺激を受けた生徒が多く見られた。

**課題**：今回は、加美町の事業とのタイアップで開催したが、今後の継続については、予算面での課題が残る。ゲストティーチャーの発掘や町の社会教育課との連携などが必要となってくる。

※この実践事例は、加美町立小野田中学校の取組です。

## ( 2 ) 領域にかかわる実践事例

### 実践名：朗読集会

領域：生徒集会（全学年）

実施期日（期間） 平成23年5月17日（火）・11月30日（水）

志教育にかかわるねらい（ **かかわる** ・ **もとめる** ・ **はたす** ）

- ・ 偉人や身近な人の生き方や考え方について知り、自分の夢と比べることにより、将来の職業や自らの在り方・生き方について主体的に探求させる。（もとめる）

具体的な学習・活動の流れ（朝の会20分扱い）

- 1 国語科による企画。
- 2 朗読する書籍（伝記など）の選出。
- 3 朗読する生徒の人選（国語科からの推薦）。
- 4 職員への企画の周知（朝の職員打合せ）。
- 5 朗読集会実施。
- 6 朗読集会についての反省・感想の集約（学期末の「生活のまとめ」で）。



指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 自分の将来について考え、その将来の夢の実現に向けて努力する態度を養うために、様々な人の生き方や考え方を全校生徒で知り、その生き方について話し合い、考えさせる。
- ・ 全職員で「授業づくり」をテーマに校内研究に取り組み、授業の中でも高い目標を持ち、その目標の実現に向けて継続的に粘り強く取り組む生徒の育成に努める。

### 実践を振り返って

**成果**：少年の主張全国大会出品作品（他校生作品）や読書感想文コンクール県入賞作品（本校生徒作品）の朗読を聞き、生徒一人一人が自分の人生について考える時間を持つことができた。これを機会に生徒一人一人が大きな「夢」を持ち、その夢の実現に向けて学習や体験活動に意欲的に取り組む姿が見られるようになってきている。

**課題**：具体的な「夢」を持たない生徒に対して、別な方向から夢をはぐくむ手立て、志を高める手立てを講じる必要があると感じた。また、生徒が興味・関心を示す志教育に関する書籍をどのように選択するかが、今後の課題である。

**その他**：朗読集会で取り上げた作品

- ・ 5月17日 平成22年度少年の主張全国大会宮城県代表作品「誓い」
- ・ 11月30日 読書感想文コンクール県入賞作品（本校生徒2名の作品）  
読書材 「夢をつなぐ山崎直子の四〇八八日」著者 山崎直子  
「神様のカルテ」著者 夏川草介

関連した取組

今年度より空き教室を学習室として各学年に1教室ずつ配置し、その教室内に各学年で目指す志教育に関する書籍を設置した。

※この実践事例は、涌谷町立涌谷中学校の取組です。

## (3) 教科・領域にかかわる実践事例

**実践名：合唱活動を通して、他者とのつながりを考える**

教科・領域：音楽科・総合的な学習の時間による横断的な指導

実施期日(期間) 平成23年12月15日(木)

志教育にかかわるねらい( **かかわる** )・ **もとめる** ・ **はたす** )

- ・ 「心ひとつに～夢と希望と決意をもって～」の合唱活動を通して、この曲が創られた経緯を知るとともに、歌詞の大意を把握させることにより、他者との絆やよりよい人間関係の構築の大切さを理解しながら表現させる。(かかわる)
- ・ 他者や地域とのつながりという視点で何ができるのかを考えさせ、自分たちの役割を果たすことによって、自己有用感を高めさせる。(はたす)

具体的な学習・活動の流れ

- 1 「心ひとつに～夢と希望と決意をもって～」の合唱練習をする。(音楽科)
  - ・ この楽曲が創られた経緯と歌詞の大意を理解する。<H23, 5(全学年)>
  - ・ パート練習及び全体練習をする。<H23.5～H23.7(全学年)>
- 2 いろいろな場面で「心ひとつに～夢と希望と決意をもって～」披露する。(総合)
  - ・ 古川東中2年生とのお別れ式で、震災の影響で同じ学舎でともに過ごしたことを懐かしみ、学び合った友達のよさを認め合いながら合唱を披露する。<H23.7.19(全学年)>
  - ・ 老人ホーム(寿楽苑)への慰問活動で、手作りプレゼントを贈るとともに、合唱を披露する。<H23.12.15(1学年)>
- 3 振り返り活動をする。(総合)
  - ・ これまでの合唱活動等を通して、感じたことを振り返り、今後の生活に生かす。<H23.12(全学年)>

指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 人生をどのように歩み、社会貢献にかかわる目標や志を高めさせるために、日々の生活を精一杯生き、確実に一步ずつ前進するとともに、他者とのかわりを大切にすると、この曲が創られた経緯を十分理解させて、取り組ませる。
- ・ 合唱活動を通して感じたことや考えたことを振り返りカードに記入させ、今後の自分の生活に生かさせる。



実践を振り返って

**成果**：今回の合唱活動を行うことにより、集団や社会の中で、よりよい人間関係の構築が大切であることを理解し、今までの自分たちの生活などを振り返るためには有効な手立てであった。振り返りカードは、他者を思いやる心や社会とのかわりを改めて考えた生徒が多く、効果的であった。

**課題**：生徒の心の変容を一層詳細に把握するため、振り返りカードを更に吟味する必要がある。古川北学校の伝統として、この取組を継続するためには、生徒会担当者や生徒会執行部との連携を図り、生徒会活動の一環として合唱練習などを行わせて、更なる合唱活動の充実に努めたい。

**その他**：本校のみの取組にとどまらず、大崎市の各小・中学校で歌う環境を整え、陸上大会の開会式や音楽祭で全員合唱することで、音楽を楽しむ環境作りを確立したい。歌を通して他者との絆やよりよい人間関係の構築を図るとともに、被災を受けて苦しんでいる人や悲しんでいる人の心を癒すための工夫もしていきたい。

※この実践事例は、大崎市立古川北中学校の取組です。

# 心ひとつに

～夢と希望と決意をもって～

作詞：大瀧英津子  
作曲：恵遍主 耕  
編曲：松井 孝夫

一、今は小さな夢だけど つか叶う そう信じて願ひ続ける  
苦しく悲しいできごと 今を生きる私たちに託されたんだ  
夢と希望と決意をもって あなたと私の未来をえがこう  
前を向いて共にあるこう 人は人に支えられて生きているんだ

二、今は小さな希望でも つか叶う そう信じて思い続ける  
つらく切ないできごと 今を生きる私たちに託されたんだ  
夢と希望と決意をもって あなたと私の未来にむかおう  
前を向いて共にあるこう 人は人と助け合って生きているんだ

三、今 共に生きる喜びを その使命を感じながら私は生きる  
人の温もりと優しさを 心からあなたのもとへ伝えたいよ  
夢と希望と決意をもって あなたと私の未来をつくろう  
前を向いて共にあるこう 人は人と寄り添い合い生きているんだ



夢と希望と決意をもって 前を向いて強くあゆもう  
みんなの願いひとつに束ね 輝く未来をもとめて手をつなごう

心ひとつに

♩ = 72~80

*mf*

*con ped.*

**A**

*mf* *unis.*

1 い ま は 一 ち い さ な ゆ め だ け ど 一 い  
2 い ま は 一 ち い さ な ゆ め だ け ど 一 い  
3 い ま と も に い き な る よ ほ う こ で び を 一 そ

*mf*



## (4) 学校だよりの参考事例

色麻町立色麻中学校 学校だより

### 「いちよう」



平成23年度 12月発行  
色麻町立色麻中学校 学校だより  
いちようの心 「聡明」：高きを慕い  
「強健」：たくましく  
「誠実」：さわやかに

保護者・地域の皆さまに感謝！！

#### 充実の2学期



今年もあとわずかとなりました。色麻中学校の2学期はたいへん充実した日々でした。日頃の授業への取り組みや学校行事、各種大会等での活躍からも、生徒一人一人が充実したものとなったことがうかがえます。また、「学校生活についてのアンケート」からも、「学校は楽しい」と感じている生徒が大半であることを確認することができました。この結果は、別紙にてお知らせいたします。

#### 将来は、こうありたい！

#### ～第38回 立志式～

1・2月7日、山口父母教師会会長さんを始め、2年生の保護者の皆さまをお迎えして、伝統ある第38回立志式を行いました。式に先立ち、元Jリーガーで現在は車いすバスケットボールプレイヤーの京谷和幸氏をお迎えし、講演会を行いました。京谷氏は、夢をもつこと、それに向かって行動に移すことを熱く語りました。また、立志の年をむかえた2年生は、自分の決意を表した毛筆の書をもとに、それぞれの夢や希望を堂々と発表しました。どの生徒もよどみなく、大きく開けた未来への第一歩にふさわしいものでした。記念合唱「大切なもの」も男女のハーモニーが響き合い、会場から盛大な拍手をいただきました。これから色中を背負っていく2年生の意気込みがしっかりと伝わる立志式でした。(会場準備、片付けにあたってくれた1、3年生、特に先輩の温かい心遣いが随所に見られました。ありがとう！)



京谷和幸氏 元Jリーガーでジェフ市原(現千葉)のMFとして活躍。

1993年、交通事故により脊髄損傷になり車椅子生活となる。リハビリの一環として車椅子バスケットボールを

はじめる。2000年シドニーパラリンピック、2004年アテネパラリンピックに日本代表として出場、2008年北京パラリンピックには日本選手団の主将として出場する。現在は、「障がい者リクルーティングアドバイザー」として活動。

#### 「私たちの夢・決意」発表



記念合唱 「大切なもの」



#### 第5回漢字マラソン

12月8日に第5回漢字マラソンを実施しました。3年生は入試に向けての学習、1、2年生は学期のまとめとなる学習の成果を発揮しました。

3年生が、1・2フィニッシュ、さすがですね。1年1組のがんばりもすばらしいです。

#### 今回の出題問題から

- 読み 「成功の暁には・・・」 「一刻の猶予もない」  
「機織りの機械」 「煩雑な手続き」
- 書き 「バツグンの成績だ」 「オモナガの顔」  
「ひもでくっつける」 「ゴウキョウする」

#### 学校だよりの特徴

- ・ 12月号は「将来はこうありたい」というタイトルで立志式の特集を組んでいる。元Jリーガーの京谷和幸さんの講話や2年生の「私たちの夢・決意」の発表の様子が伝えられている。また、1・3年生への感謝のコメントも載せられ、学校全体としての取組であることが伝わってくる。

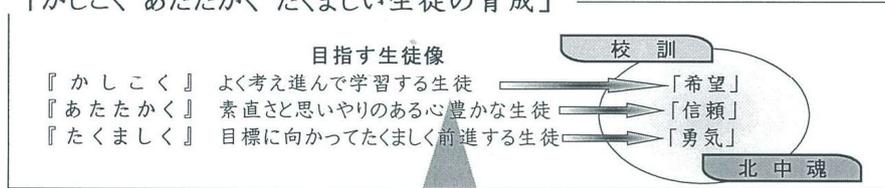
## (5) 学校要覧の参考事例

# 大崎市立古川北学校

### 平成23年度の学校経営

#### 学校教育目標

「かしこく あたたかく たくましく 生徒の育成」



### 平成23年度の重点努力目標

#### I 主として人と「かかわる」力の育成

- ①「生徒主体」: 生徒会活動の充実, 学習過程の改善  
活動場面における自己選択・自己決定の場の設定

#### II 主としてよりよい生き方を「もとめる」力の育成

- ①「確かな学力」: 基礎基本の定着, 思考力・判断力・表現力の育成  
②「自己実現」: 「生活アンケート」「班会議」等を活用した学級づくり  
コーディネータを中心とした特別支援教育の充実  
補充学習の充実(「パワーアップ学習」「毎時間の確認テスト」)  
「ONE学なび」による自主学習, 宿題の習慣化の推進

#### III 主として社会での役割を「はたす」力の育成

- ①「社会性」: 基本的生活習慣・学習習慣の確立  
地域行事への積極的な参加や地域ボランティアの推進  
「立志式」による社会での役割や責任を果たす意識の向上

#### IV 主として「志教育」の推進を支えるための取り組みについて

- ①「小中連携」: 川北学区小中の研究主任の連携による家庭学習の習慣化の推進  
川北学区小中の生徒指導主事の連携による基本的生活習慣の確立  
②「組織の活性化」: 主任層の学校改善意識の向上, 分掌の連携による学校改善

### 宮城県の教育課題 志教育の推進

児童生徒一人一人が将来の職業人, 社会人としての自己を見据え主体的に学ぶ意欲と目標を持って努力していけるよう, 小・中・高等学校を通じて勤労観や社会性を養い, 自らの生き方について主体的に探求していける力を身に付けさせる

### 平成22年度の生徒の課題

- 規則や決まりを守って正しく行動しようとする態度 (かしこく)
- ・ 他の立場や気持ちを理解しようとする態度 (あたたかく)
- ・ 協力してよりよい学級, 学校をつくろうとする態度 (たくましく)

### 伝統と教育の成果

- 困難な時代から「花いっぱい運動」「あいさつ運動」「合唱活動」による学校改善
- ・ 平成16年度 「県緑の会学校花壇コンクール」優秀賞を獲得
  - ・ 平成18年度 「全日本学校関係緑化コンクール」国土緑化推進機構会長賞
  - ・ 平成21年度 野球部・吹奏楽部全国大会出場
  - ・ 平成22年4月 全国学力状況調査の通過率が県平均を上回る

### 学校要覧の特徴

- ・ 「平成23年度の重点努力目標」の ~ 全てが, 志教育の3つの視点や志教育の推進と関連させて設定してある。その上で「生徒主体」「確かな学力」「自己実現」等のキーワードを示し, 自校化を図っている。

## (5) 学校要覧の参考事例

### 美里町立南郷中学校

#### 学校経営方針

- |                              |                  |                       |
|------------------------------|------------------|-----------------------|
| (1) 学力の向上                    | (2) 豊かな心の育成      | (3) 一人一人を大切にした生徒指導の推進 |
| (4) 遅く生きる生徒を育む<br>体育・健康教育の推進 | (5) 開かれた学校づくりの推進 | (6) 教職員の資質と指導力の向上     |



#### 学校教育目標

心身共にたくましく、自ら学び、心豊かな生徒の育成



#### めざす学校像

- (1) 明るく、楽しい学校
- (2) 生き生きと躍動する学校
- (3) 共有・共感し、人に学ぶ学校

#### めざす生徒像

- (1) 明るく、たくましい生徒
- (2) 夢と希望をもち、自ら進んで学ぶ生徒
- (3) 豊かな心をもち、思いやりのある生徒

#### めざす教師像

- (1) 生徒理解に努める教師
- (2) 発想豊かで、実践力のある教師
- (3) 研修に励み、指導力を高める教師

#### 『志教育』の目標

人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせる。

#### 重点努力事項

1. 学力の向上と学習習慣の形成
2. 望ましい対人関係の育成【いじめと不登校のない学校】

#### 学習指導

- (1) 授業づくりの研究
  - ・興味をもたせる授業
  - ・互いに学び合う授業
  - ・発表する・聞く態度の育成
  - ・授業の約束「5箇条」の徹底
- (2) 基礎・基本の定着
  - ・繰り返し学習の徹底
  - ・家庭学習の習慣化
  - ・週末課題の効果的な活用
- (3) 指導法、指導形態の工夫
  - ・少人数指導、習熟度別指導の工夫
  - ・個別指導、グループ指導の工夫
- (4) 美里町学力向上対策ドリルの有効な活用
- (5) 読書の時間の充実
- (6) 自主学習ノートの活用

#### 生徒指導

- (1) 基本的な生活習慣の確立
  - ・共通理解と連携
  - ・生活ノートの活用
- (2) 学級づくり
  - ・一人一人が存在感のある学級
  - ・生徒理解と人間関係の把握
  - ・いじめや不登校に対する素早い対応
- (3) 教育相談の充実
  - ・カウンセラーとの連携
  - ・関係機関との積極的な連携
- (4) 主体的な生徒活動の推進
  - ・生徒会活動の活性化
- (5) 携帯電話、パソコン等の使用についての指導



#### 校内研修

- “学力の向上を目指した研修”
- (1) 積極的な校内研修
    - ・自主的な授業研究（共磨きの場）
  - (2) 研修時間の確保
    - ・年間計画への位置付け

#### 地域に開かれた教育活動

- (1) 積極的な情報発信
  - ・学校要覧、各種たよりの配布
- (2) PTAとの連携強化
  - ・魅力あるPTA事業の推進
- (3) 学校評議員会の活用と充実
- (4) 外部評価・内部評価の実施
- (5) 自由参観日の実施

#### 学校要覧の特徴

- ・ 「学校教育目標」を受け、「志教育の目標」を設定し、それらを受けて「重点努力事項」を設定している。学校としての志教育の位置付けが明確であり、構造的な経営方針となっている。

# 志教育実践モデルについて

- (1) 北部教育事務所作成の実践モデル
  - 小学校 第2学年 生活科
  - 小学校 第4学年 総合的な学習の時間
  - 小学校 第4学年 音楽科
  - 中学校 全学年 生徒会活動
  
- (2) 志教育の視点からの学習活動の評価例
  - 児童生徒の自己評価に志教育の視点からの項目を盛り込む例
  - 教師側の志教育の視点からの振り返り例



涌谷町立涌谷中学校

## ( 1 ) 実践モデル

実践名：できるようになったことをおしえあおう

対象：小学校第2学年 教科・領域等：生活科

志教育にかかわるねらい( かかわる ・ もとめる ・ はたす )

- ・ 自分ができるようになったことを工夫して発表させるとともに，友達と努力や頑張りを認め合えるようにする。

内容 (生活科 2時間扱い)

- 1 自分ができるようになったことをグループごとに友達と発表し合う。  
自分ができるようになったことを工夫して表現し，互いに見合う。
  - ・ 自分ができるようになったことを実演したり，写真や作品を使ったりして友達に伝えさせる。
  - ・ 教師が個々の成長ぶりやよさを認めるとともに，友達の成長ぶりやよさにも目を向けるよう声かけをする。
- 2 発表を聞いて気付いた友達のよさをカードに書いて教え合う。  
「えらいね，すごいねカード」に書いた内容をグループ内で紹介し合う。
  - ・ グループ内の全員について「えらいね，すごいねカード」を書かせる。
  - ・ カードの内容を紹介しながら手渡すように声かけし，互いの成長を喜び合えるようにする。
- 3 活動の振り返りをする。  
友達からの「えらいね，すごいねカード」を見て，自分が気付かなかったよさや，うれしかったことなど感想を発表する。

指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 自分ができるようになったことを発表し合ったり，「えらいね，すごいねカード」で友達のよさを教え合ったりする活動を通して，お互いの成長を知り，努力や頑張りを認め合う。



### 【実践のポイント】

- ・ 小学校第2学年生活科を志教育の視点からとらえた実践例である。具体的には，小学校学習指導要領解説編生活科の内容(9)「自分自身の成長を振り返り，多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと，自分でできるようになったこと，役割が増えたことなどが分かり，これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに，これからの成長への願いをもつて，意欲的に生活することができるようにする。」の下線部 を志教育と関連させた授業を構想した。

## ( 1 ) 実践モデル

### 実践名：1 / 2 成人式をしよう

対象：小学校第4学年 教科・領域等：総合的な学習の時間

志教育にかかわるねらい( **かかわる**・**もとめる**・**はたす** )

- ・ 「1 / 2 成人式」へ向けての「自分史(これまでの10年・これからの10年)」作りを通して、将来への夢や希望を抱かせる。

内容 (総合的な学習の時間 8時間扱い)

- 1 「1 / 2 成人式」について知る。  
「1 / 2 成人式」の概要や「自分史(これまでの10年・これからの10年)」の内容を確認する。
- 2 「自分史(これまでの10年・これからの10年)」を作成する。(もとめる)  
今までの自分を振り返り、これからの自分をイメージする。
  - ・ 第1部：今までの自分(頑張った思い出)、第2部：これからの自分(将来への夢や希望)の2部構成にする。
- 3 招待状を作る。  
「1 / 2 成人式」に招待したい人を考え、相手に合った内容で作成する。
- 4 「1 / 2 成人式」を行う。(かかわる・もとめる)  
「自分史(これまでの10年・これからの10年)」を基に、全員が将来への夢や希望を発表する。
  - ・ 発表原稿は600字程度にまとめさせる。
  - ・ 「自分史」は、会場壁面に掲示し、参加者全員に読んでもらえるようにしておく。
- 5 「1 / 2 成人式」を振り返る。(かかわる・もとめる)  
学んだことを「自分史(これまでの10年・これからの10年)」の「20年 1 / 2 成人式」の欄に記入する。

### 指導のポイントや手立ての工夫

- ・ 過去・未来をつなぐ自分史作りを通して、自分自身や自分を支えてくれている人について改めて考えさせるとともに、将来への夢や希望を抱かせる。



### 【実践のポイント】

- ・ 小学校第4学年総合的な学習の時間を志教育の視点からとらえた実践例である。  
志教育の視点「かかわる」「もとめる」との関連をより意識させるために「自分史(これまでの10年・これからの10年)」と招待状作成という手立てを取り入れた授業を構想した。

## ( 1 ) 実践モデル

### 実践名：いろいろな音色を感じ取ろう

対象：小学校第4学年 教科・領域等：音楽科

志教育にかかわるねらい( **かかわる**・**もとめる**・**はたす** )

- ・ 自分の好きなことや興味を持ったことに進んで取り組ませる。

#### 内容 (音楽科 2時間扱い)

- 1 いろいろな打楽器の音色の違いを感じ取る。  
いろいろな打楽器を鳴らして聴き比べる。
  - ・ 自分の好きな音，興味を持った音について学習カードに記入させる。
- 2 グループごとに，おもしろい音の組み合わせになるように話し合う。  
グループごとに「お祭り」や「星の世界」等のテーマを考え，そのテーマに合う打楽器の組み合わせを工夫する。
  - ・ 自分たちのテーマを表現するために，打楽器の材質の違い，音の強さによる違いなどを意識させ，音を確かめさせる。よりよいものを追求していく姿勢を培う。
  - ・ 打楽器を鳴らす分担と順番を決めさせる。
  - ・ 図形楽譜等にまとめさせ，練習させる。
- 3 中間発表会をする。  
テーマに合わせて好きな音，興味を持った音を組み合わせで演奏する。
  - ・ 他のグループの演奏について感想を発表させる。
- 4 感想をもとに自分たちの演奏を振り返り，練習し，発表会をする。  
よりテーマに合った演奏を工夫して発表する。
  - ・ 自他の演奏の比較や感想など，肯定的な振り返りをさせ，自分たちのよさに目を向けさせる。

#### 指導のポイントや手立ての工夫

- ・好きな音や興味のある音をもとに，グループごとに設定したイメージに合った音づくりに取り組むことを通して，よりよいものをつくる喜びを味わわせる。



#### 【実践のポイント】

- ・ 小学校第4学年音楽科の授業を志教育の視点からとらえた実践例である。  
打楽器の音を合わせて演奏を作り上げる過程で，グループ内，グループ相互で「かかわる」，テーマに合ったよりよい演奏「もとめる」，グループ内での自分の役割を「はたす」ことになる。志教育の3つの視点全てを取り入れた授業を構想した。

## ( 1 ) 実践モデル

**実践名：学区内クリーンアップ作戦**

**対象：中学校全学年 教科・領域等：生徒会活動**

**志教育にかかわるねらい( かかわる ・ もとめる ・ はたす )**

- ・ 自分と地域社会とのかかわりに目を向けさせるとともに、自分が貢献できたという実感を味わえるようにする。

**内容 ( 5月・10月各2時間 まとめ1時間 計5時間扱い )**

- 1 生徒会役員と委員会、学年代表委員が、学年ごとの清掃活動場所の候補地を話し合い、生徒会役員が所轄部署と連絡調整を行い決定する。  
自分の生活している地域を意識し、清掃する公共の場所を考える。
  - ・ 教師側の安全確認を前提とする。
- 2 5月・10月の2回「クリーンアップ作戦」を実施する。  
道路・駅・公園・公民館周辺等、場所に応じた清掃計画を学年ごとに作成し、実践する。
  - ・ グループ単位で活動に取り組みさせる。事前にグループの目標を決め、事後に振り返りをさせる。環境の改善や互いのよさに目を向けさせる。
- 3 活動のまとめをする。  
清掃した場所の管理者等( JR職員や自治会長 )からのメッセージを聞く。  
自分の気持ちや環境の改善等、1回目と2回目の違いを考える。
  - ・ まとめの視点を明確にすることにより、自分の成長に気付かせる。

**指導のポイントや手立ての工夫**

- ・ 生徒会の自治活動を通して、生徒自らに地域社会とのかかわりについて気付かせる。また、清掃した場所の管理者等からのメッセージを知らせ、自分たちの活動が、地域社会に貢献したことを実感させる。



### 【実践のポイント】

- ・ 中学校の生徒会活動を志教育の視点から捉えた実践例である。  
志教育の「かかわる」「はたす」の視点と関連させるために、従来の奉仕活動を見直し、新たに「地域社会を意識し、生徒自らに活動場所を選定させること」「清掃した場所の管理者等からのメッセージをもらい、生徒に伝えること」の2点を加えた。

## (2) 志教育の視点からの学習活動の評価例

### 児童生徒の自己評価に志教育の視点からの項目を盛り込む例

#### 授業実践モデル

中学校第2学年 国語科

単元名 読書の幅を広げよう 「父のようにはなりたくない」

<本時のねらい>

吾郎の言葉「要は、どんなやり方を選ぶかさ。」について、話し合いを通して自分の考えを深め、400～600字程度の作文を書くことができる。

【志教育の視点】(もとめる)

- ・ 吾郎の言葉や題名について考えさせることを通して、自分の生き方について考えを深めさせる。

(「みやぎの志教育推進 授業や活動のヒント集1」平成23年5月 宮城県教育委員会 P45)



振り返りカード

鑑賞文：「父のようにはなりたくない」について

2年\_\_組 氏名\_\_\_\_\_

自分の鑑賞文のポイント

描かれている親子の姿、会話から考えたこと

自分の経験に基づいて考えたこと

他の人の鑑賞文や振り返りカードを読んで考えたこと



ポイント

- ・ 鑑賞文を作成した後で、鑑賞文と振り返りカードをセットにしてグループ内で回覧する鑑賞会を行う。その後「**他の人の鑑賞文や振り返りカードを読んで考えたこと**」の欄を書かせることによって、生き方についての考えを深めさせる。

## (2) 志教育の視点からの学習活動の評価例

### 教師側の志教育の視点からの振り返り例

#### 授業実践モデル

小学校第6学年 総合的な学習の時間

単元名 花いっぱい作戦

<本時のねらい>

自分たちで栽培した花のプランターを「花いっぱい作戦」として地域に設置する活動を通して、人のために役立つ喜びを体験する。

【志教育の視点】(かかわる・はたす)

- ・ 地域とのかかわりの中で社会性をはぐくむ。
- ・ 「花いっぱい作戦」を通して自分の役割や責任を自覚させる。

(「みやぎの志教育推進 授業や活動のヒント集1」平成23年5月 宮城県教育委員会 P27)



#### 第6学年総合的な学習の時間「花いっぱい作戦」実践記録

##### 1 ねらい

(1) 地域と自分とのかかわりについて考えを深めさせる。

【評価： 5・4・3・2・1】

自由記述

(2) 「花いっぱい作戦」の内容を工夫し、実施計画を作成させる。

【評価： 5・4・3・2・1】

自由記述

(3) 「花いっぱい作戦」を通して、自分の役割や責任を自覚させる。

【評価： 5・4・3・2・1】

自由記述



#### ポイント

- ・ 従来の教師用の実践記録のねらい(1)(2)に、(3)「役割や責任の自覚」を加えたものである。(3)に係る評価や自由記述のまとめは別に集約し、志教育の記録として保存していく。

<参考資料>

「志教育実践事例」一覧

No	市町村名	小学校名	教科・領域等	内 容
1	大崎市	古川第一小学校	総合（４年）	パワーアップ探検隊
2	大崎市	古川第二小学校	総合（６年）	伝えよう みんなの心（福祉）
3	大崎市	西古川小学校	学級活動（１・２年） 生活科・総合（全学年）	花いっぱい運動 保柳神楽を踊ろう
4	大崎市	宮沢小学校	総合（５年） 総合（４年）	化女沼美化活動 １／２成人式
5	大崎市	東大崎小学校	国語（全学年）	朗読発表会
6	大崎市	富永小学校	理科（５年） 社会（５年）	人のたんじょう わたしたちの生活と工業生産
7	大崎市	清滝小学校	総合（６年）	ホテルの里を守るう
8	大崎市	古川第三小学校	総合（６年）	仕事を実際に体験しよう（職場体験）
9	大崎市	高倉小学校	総合	田植え踊り
10	大崎市	古川第四小学校	総合（６年）	ふるさと日本に目を向けて
11	大崎市	古川第五小学校	道徳（１年） 朝会	お年寄りとのふれあい さわやかあいさつさん
12	大崎市	松山小学校	総合（４年） 総合（３年） 総合（４～６年）	福祉体験学習 就労体験学習 金津流松山獅子躍
13	大崎市	三本木小学校	朝読書（全校）	朝読書
14	大崎市	鹿島台小学校	特別活動（６年）	たてわり朝会・たてわり清掃
15	大崎市	鹿島台第二小学校	社会（５年）	自動車を作る工業
16	大崎市	西大崎小学校	学級活動（６年）	運動会を振り返って考えよう
17	大崎市	上野目小学校	生活科・総合（全学年）	竹の子祭り
18	大崎市	川渡小学校	学校行事（全校）	花いっぱい作戦
19	大崎市	鬼首小学校	校長先生の話 総合（３・４年）	「みんなの夢と目標」 鬼首うまいものさがし
20	大崎市	田尻小学校	総合（６年）	ふるさとを知ろう
21	大崎市	沼部小学校	児童会活動（全学年）	あおばフェスティバル
22	大崎市	大貫小学校	学校行事・児童会（全学年）	加護坊山遠足
23	加美町	広原小学校	総合（３・４年）	歌声を届けよう
24	加美町	鳴瀬小学校	総合（４～６年）	民泊体験学習
25	加美町	東小野田小学校	児童会活動（全学年）	東まつり
26	加美町	西小野田小学校	朝の会・帰りの会（全学年）	１分間スピーチをしよう
27	加美町	宮崎小学校	特別活動（５・６年） 学校行事	健康出前講座 朝会校長先生の話
28	加美町	旭小学校	道徳（４年）	「いつかにじをかける」
29	色麻町	色麻小学校	学級活動（６年） 学級活動（６年）	中学校の先輩から学ぼう：卒業式・合唱コンクール 先輩と一緒に走ろう
30	色麻町	清水小学校	総合（６年）	仕事と生き方について
31	涌谷町	涌谷第一小学校	学級活動（６年）	花いっぱい運動
32	涌谷町	籠岳小学校	創意（全学年）	A L T による国際理解学習
33	涌谷町	小里小学校	総合（４～６年）	先輩に学ぼう
34	涌谷町	月将館小学校	児童会活動（全学年）	ふるさと交流会
35	美里町	小牛田小学校	総合（６年） 総合（４年） 総合・児童会（３年） 生活科（２年）	自分探しの旅 地域の中で生きる 遊びを広げよう みんなでつくろうフェスティバル
36	美里町	不動堂小学校	総合 総合（５年）	福祉体験活動を通して めざせ！イネ博士
37	美里町	北浦小学校	総合（３年）	梨売り体験
38	美里町	中埴小学校	総合	水田や畑の作物の世話と収穫をしよう
39	美里町	青生小学校	学校行事 総合（３年） 総合（３～６年）	朝会校長先生の話 お年寄りと交流しよう 夢をもとう
40	美里町	南郷小学校	総合（５年）	「ふるさと発見」米作り

No	市町村名	中学校名	教科・領域等	内 容
1	大崎市	古川中学校	総合（１年）	仲間づくりをしよう（P A）
2	大崎市	鹿島台中学校	総合	ふれあい交流会「生命を考える」
3	大崎市	岩出山中学校	総合（３年） 全校集会	修学旅行での岩出山P R 教師による講話や特技の披露
4	大崎市	鳴子中学校	総合（２年）	14歳の決意
5	大崎市	田尻中学校	総合（２年）	職場体験学習
6	加美町	中新田中学校	道徳（全校）	「風は逆風の中で揚がる」（社会人による出前講座）
7	美里町	不動堂中学校	総合（２年）	不中学生による学校説明
8	美里町	南郷中学校	総合（２年）	立志を祝う会

「志教育実践事例集」で紹介した実践は、一覧には掲載しておりません。

**宮城県北部教育事務所**  
**「志教育実践事例集」**

(平成24年2月)

表紙写真 美里町立小牛田中学校  
背表紙写真 涌谷町立籠岳小学校

